

平成23年度優先度判定パブリックコメント結果

| No.  | 属性                 | 年代     | 府省名   | 施策番号  | 施策名                          | ご意見概要     | ご意見  | その理由  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------------|-----------|--|---|
| 3601 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24185 | 研究成果最適展開支援事業                 | このまま推進すべき | 大学や公設試験研究機関等の研究成果を迅速かつ効果的に実用化に導くための事業として、A-STEPのシーズ探索は重要です。金額は130万円程度でも採択件数を増やし、より多くの課題探索に取り組めるよう事業推進をお願いします。  | 研究成果を企業等で実用化するには、その前段階でフィールド試験を実施する必要があります。シーズ探索タイプは研究成果に基づく企業との共同研究を推進する上で、必要な資金となり、効果の検証ができるため必要な事業である。   |
| 3602 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24149 | 国立大学法人等施設の整備                 | このまま推進すべき | 国立大学法人等の施設等の整備を推進し、教育基盤を充実させ、活力ある次世代を育成する必要がある。また、社会人教育により、“思慮深い世論”に満ちた社会を構築する必要がある。また、研究基盤を充実させ、学問の継承と新技術の創成を図るべきである。   | 若者の活力なしには我が国の将来はない。とかく感情に流される世論を、より成熟した思慮深い世論にすることにより、社会の安定が保証される。基礎学問と基盤整備に裏打ちされてこそ、新技術の誕生が期待される。  |
| 3603 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム | このまま推進すべき | 会社生活を6年送った後に、大学に戻り博士課程に在籍中の者です。本GCOEプログラムは、博士学生に対して経済的な支援だけでなく、各種セミナー等により専門分野以外の研究分野にも広く接することができるため、視野を広げたり、様々な問題意識を持つことができます。これらは博士課程修了者に求められてるが、研究室に閉じこもりがちな従来のカリキュラムでは育成が難しいものであるため、企業経験者として本施策の継続を強く要望いたします。 | 会社員から大学に戻る際の最大の問題点は経済的なものでした。学生になると、収入がなくなるだけでなく、学費・交通費がかかりますが、税金や社会保険料は重くのしかかります。本GCOEプログラムのおかげで、会社を辞めて大学に戻る決心ができました。大学内部の多様化のためにも、私のような社会人経験者が学生として在籍することには意味が大きいと思います。 |
| 3604 | 大学・公的研究機関(独)       | 50～59歳 | 文部科学省 | 24138 | Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法      | このまま推進すべき | スーパーBファクトリーを推進してください。小林・益川両氏が完成させた「素粒子の標準模型」を、現行Bファクトリーで検証することができました。スーパーBファクトリーでは、多様な反応を超精密に測定する  | 科学の基礎となるのは、地道に積み上げたデータとそれを真摯に分析して、新しい法則を見つけ出す努力です。世界では多くの素粒子実験が実施・計画されています。そのなかでスーパーBファクトリーは  |

|      |                    |        |       |       |               |                  |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---------------|------------------|---|--|
|      | 法・公設試等)            |        |       |       | 則の探求          |                  | ことが可能であるため、これまでに理論的に予言された新現象の検証だけでなく、思わぬ発見がある可能性があります。  | 先端加速器技術・測定器技術・素粒子理論によるサポートが不可欠の実験であり、日本でこそ推進できる実験だからです。  |
| 3605 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム | このまま推進すべき        | 大学院学生の研究・教育をグローバルCOEプログラムとして支援することは、国の将来を託す人材を育成し、国を発展させるのに必要です。  | 日本の科学技術はこれまで大きな発展を遂げてきましたが、昨今の世界の科学技術の発展はめざましいものがあります。将来の人材を育成することを怠れば、それは日本が後進国へと向かうことを政府が支援したことになります。このようなことが無いように「米百俵」の精神を忘れてはなりません。                      |
| 3606 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金      | 改善・見直しをした上で推進すべき | 研究中心の大学、教育研究中心の大学など分けて、配分してほしい。また、研究費の減額は、国家の将来への大きな損失となるので、実用化に特化せず、研究内容と論文業績を評価してほしい。また、高齢な研究者が、名前だけで大きな予算を取るのには、若手研究者の育成を阻むと思う。むしろ、そうした人がNIHの様に科学研究を客観的に審査する立場に立ってほしい。ただし、審査する場合、申請書の名前を伏せて行うなどの透明性と、一部の人間に研究費が偏る問題点を解決すべきである。 | 官僚の方は、頭がいいので、少し勉強したら表面的なことは、よくわかる。また、各分野の著名な研究者の意見を積極的にとり入れられる。しかし、現在の研究の流れは異常に速く、現役で行っている自分でさえ、内容について行くのが大変である。また、若手に夢を持たすためにも、単に無駄という理由だけで、研究費カットは行すべきでない。 |
|      |                    |        |       |       |               |                  |   | インターネットが技術的に限界に近づいていることは、一般国民にはほとんど知られておらず、本施策の重要度はわかりにくかもしれないが、継続的もしくは加速度的に当該領域の研究開発を進めなければ、日本のICT業界は将来にわたって、これまで同様に利益の源泉をすべて米国シスコ、グーグル、アマ                  |

|      |                    |        |       |       |                       |           |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|-----------------------|-----------|---|
| 3607 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 総務省   | 20111 | 新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発 | このまま推進すべき | <p>将来の社会基盤としてのポストインターネットの時代において、日本のICT業界が世界で戦えるよう、新世代ネットワーク基盤技術のコア技術をしっかりと抑えることが極めて重要である。</p> <p>将来の社会基盤としてのポストインターネットの時代において、日本のICT業界が世界で戦えるよう、新世代ネットワーク基盤技術のコア技術をしっかりと抑えることが極めて重要である。長期的視野にたった研究開発を進めることこそ、長期的な国益にかなうものと思っている。ただし、本施策の推進には、上記の視点を鑑み、産学連携で日本の強みを活かした推進が重要であると思われる。例えば、光技術、ユビキタス技術、無線通信技術等のこれまでの研究開発成果をうまく活かすことが重要であると思われる。また、通信キャリアの閉塞感を打破するためにはネットワーク仮想化技術がキーになると考えられ、ビジネスモデルを構造的に転換できるポテンシャルを持っている。うまくいけば、キャリア、サービス事業者、機器ベンダのトリプルWin関係を構築できると思われる。</p> |
| 3608 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24008 | テニュアトラック普及・定着事業       | このまま推進すべき | <p>若手研究者が自立して研究できる環境の整備は推進すべきである。</p> <p>博士号を取得したものの、受け皿が少ないゆえに、能力を発揮して活躍することができずにいる優秀な研究者が多く存在する。優秀な若手研究者が自立して活躍できる環境の整備が必要である。</p>  |
|      |                    |        |       |       |                       |           | <p>改善、見直しが必要な予算と考えます。学校の理数教育を中心</p> <p>企業、大学の連携に対する予算であるが、実質、企業に対する連携</p>   |

|      |                    |        |       |       |  |                  |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--|------------------|---|--|
| 3609 | 民間企業               | 30～39歳 | 文部科学省 | 24151 | サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト                  | 改善・見直しをした上で推進すべき | <p>に考えられていますが、これらの予算は本来、理数だけではなく、全教科にあって然るべき予算であり、理数に限定するものではないと考えます。</p> <p>また、採択される学校も例年、同一であることも問題かと思われます。また、私も講師側で参加していますが、所属する身分で対応も変わり、困惑しています。依頼をする側、受ける側の連携時に、手間がかかり負担ともなる。システムのことも見直す時期ではないか？</p>            | <p>に対して否定的であり、運用そのものが適していないと考えます。私自身、企業に在職しながら、大学の客員研究員等で研究活動も行ってありますが、企業で出すと否定され、客員研究員で出すと認められたというケースが過去の連携においてもあり、そのような話も聞いています。</p> <p>また、理数に限らず、実社会につながる職業もあるのであり、体育や芸術、国語、社会などでの連携にも予算化をすべきである。</p>                           |
| 3610 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金                               | このまま推進すべき        | <p>研究者の自由な発想に基づく独創的な研究開発の実現を含め、新たな知の創出の根幹である重要な政策であると思います。この為には若手の支援に強化をするというのは極めて重要でありまして、今回の内容に盛り込まれており大変妥当な政策と思います。</p>  | <p>研究者の自由な発想に基づく独創的な研究開発の実現を含め、新たな知の創出の根幹である重要な政策であると思います。この為には若手の支援に強化をするというのは極めて重要でありまして、今回の内容に盛り込まれており大変妥当な政策と思います。</p>   |
| 3611 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24111 | (独)物質・材料研究開発機構運営費交付金「高性能発電・蓄電用材料の研究開発」 | 改善・見直しをした上で推進すべき | <p>現在、電気自動車の開発・製造が世界的に推進されているが、そのなかで、高性能発電・蓄電用材料としての燃料電池は、ますます今後、エネルギー技術として最も重要なものになってくるであろう。特に世界的な石油資源の枯渇が進むなか、燃料電池が果たす役割はとみに大きいものがあると考えられる。このような中にあるには、燃料電池等、エネルギー分野の研究開発にさらなる投資を国家的規模で行なっていくことは、必須の課題であると思われる。</p> | <p>現在、燃料電池の分野において、日本はトップレベルにあるといわれる。もちろん研究開発分野においてもコスト削減など進められていくべきであるが、海外における燃料電池出荷量は拡大しており、欧米のみならずアジア諸国も燃料電池の開発を国家規模において活発化させている。資源が乏しく、また国土の狭隘な日本が今後の世界の金融・経済市場の中で生き残っていくためには、日本が誇るべき産業技術を維持、拡大していかなければ、早晩、日本は立ち行かなくなるであろう。</p> |
|      |                    |        |       |       |  |                  | 日本国に予算がないこ  | 私は本プログラムで助教の職を得ています。   |

|      |                    |        |       |       |                                      |           |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------------------------|-----------|--|--|
| 3612 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム                        | このまま推進すべき | とは重々承知です。そして、研究費を削られても、工夫によって研究を進めることはできますが、ポストクのポストを削られると、研究そのものを追考することが非常に難しくなります。よって、本プログラム推進を希望します。  | 研究だけではなく教育も実践でき、将来の研究者としてのキャリアパスにおいてかけがえのない経験を本プログラムでできています。ですので、本プログラムで職を得ることは未来の研究者にとって非常に重要です。  |
| 3613 | 民間企業               | 60歳～   | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム                    | 推進すべきではない | 1)体系的なコースワーク、研究指導等の有機的連携による、一貫した学位プログラムとしての博士課程教育を構築、(2)国内外の優秀な教員・学生を結集し、国際ネットワークの下で学生を切磋琢磨させる開かれた大学院教育を展開、(3)企業や公的研究機関等との協議の場を設け、教育上の連携やキャリアパスの確立を推進を掲げて、博士教育を推進するとしているが、日本における博士の課題は、独創性にあると考えられ、このようなプログラムからは独創性は発生しない。 | 日本の大学院で博士を取得するには、かなり、運が影響するよう見受けられる。理由は、大学教授が多くの場合、テーマを掲げ、それを博士課程の学生が推進するパターンとなっているためである。したがって、同じようなテーマにあたった学生は先に着手している学生が博士になった場合、後の学生はなれない等の矛盾に突き当たる。また、博士号を得ても、実力が伴わなく、世界と競合できない。根本的な教育方法を変えない限りこの矛盾は解消できない。この点を改善することをすべきで、今テーマのようなオブラートに包んだようなテーマは廃止すべきである。 |
| 3614 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24174 | 革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築 | このまま推進すべき | 国家戦略的に推進すべき事業。   | 近視眼に陥らず、技術立国を支えていくための基本的技術として戦略的に推進すべき。一位になれるかどうかは余り重要なことではない。一位になれたとしてもすぐにどこかに抜かされる。重要なのはキャッチアップを重ねることによって技術水準を保持していくこと。  |
| 3615 | 大学・公的研究機関(独)       | 50～59歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバル                 | このまま推進す   | 我が国の科学技術を担う次世代を育成するための教育に重点を置いたプログラムであり継続  | 次世代を育成するために経済的なサポートは欠かせない。特に選ばれたプログラムの下でなされる博士課程大学院生への経済的サポートは、長引く不況の中、授業料を支払う立場の  |

|      |                   |        |       |       |                        |                  |   |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|------------------------|------------------|---|--|
|      | 法・公設等)            |        | 省     |       | COEプログラム               | べき               | して強かに推進すべきである。  | 大学院生に必須である。このプログラムがないと科学技術立国の根幹を支える人材を育成することができないと言っても良い。  |
| 3616 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24152 | スーパーサイエンスハイスクール支援事業    | 改善・見直しをした上で推進すべき | 最先端の科学に触れる重要性は認めるが、その後の成長に大きく貢献するのは幅広い教養である。化学・物理・生物・地学の履修を必須として、センター試験で満点を取れる程度の知識を習得するのがよい。また、挑戦的なカリキュラムが受験勉強の邪魔にならないように十分配慮することが必要である。 | 理科のおおよその分野において高校で習う程度の知識を等しく備えていない専門家は役立たずである。また、挑戦的なカリキュラムで扱う内容は専門家から見ればやはり陳腐なものであることが多い。中途半端な理科教育をするよりは、真に役立つ科学者の育成に活用すべきである。同時に、高校教員の知的レベルの引き上げも最重要な課題であろう。 |
| 3617 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCEO               | 改善・見直しをした上で推進すべき | 減額を予定していますが、現状維持または増額を希望します。  | 生活が苦しいです   |
| 3618 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24188 | 国際科学技術共同研究協力推進事業       | このまま推進すべき        | 重要な事業   | シンポジウム等の日本での開催により、各学術分野における日本の研究のプレゼンスを示せることを十分に認識すべき。   |
| 3619 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | このまま推進すべき        | ターゲットタンパク研究プログラムは、4年目の22年度に入り、高難度の蛋白質の立体構造解析における成果が出てくる段階である。<br>薬の重要な標的についても研究対象としており、成果を社会に還元する大切な局面であることから、最終年度である23年度も積極的に推進すべきである。   | ターゲットタンパク研究プログラムは、有用かつ難易度の高い蛋白質研究に焦点を絞って行っている研究プログラムであり、病気の治療にとどまらず、食糧問題、環境問題など広範囲での社会還元が期待されるからである。<br>23年度は成果が現れる肝心の時期であり、積極的な支援と精力的な取り組みの推進が必要である。          |
|      |                   |        |       |       |                        |                  | 新世代ネットワーク基盤技術の研究開発にあわ   | 研究開発と実証実験環   |

|      |                    |        |       |       |                          |                  |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------------|------------------|---|---|
| 3620 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 総務省   | 20003 | 新世代通信網テストベッド(JGN-X)構築事業  | このまま推進すべき        | せて、その実証実験、フイーシビリティストアディを実行すうためのテストベッド環境は必須である。特に、新世代ネットワークにおける運用面で世界をリードできる技術の確立が極めて重要である。特に、ネットワーク仮想化技術に対応した実証実験環境が必須である。                            | 境は表裏一体であり、開発→性能評価・実証実験→開発に反映→...というループを回すことが競争力のある研究開発に必要である。新世代ネットワークのプロトタイプを産学が積極的に利用することが重要である。  |
| 3621 | その他                | 60歳～   | 文部科学省 | 24141 | 特別研究員事業                  | 改善・見直しをした上で推進すべき | 1)日本の大学研究所強化と若手育成は結構で推進していただきたい。<br>2)しかし、日本の科学は欧米の輸入物で有り、この種の補助は若手を局所的に拘束する反面を持つ。  | 1)若手を欧米での研究経験を優先すべき内容を検討すべきある。<br>2)研究成果が出ても、視野の狭い若手の育成支援になっている。<br>3)従ってこの分野の若手ののびが国内的で、国際的なスケールに乏しくなる。  |
| 3622 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24136 | 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)   | このまま推進すべき        | 「施策の目的及び概要」及び「達成目標」について指示します。   | 23年度の研究開発目標にもあるように、高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目指し既に動いています。子供たちに一つでも多く高い水準を誇れるものとして繋げるべきものではないかと評価いただき、このまま推進いただくようお願いいたします。  |
| 3623 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 総務省   | 20004 | 脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発 | このまま推進すべき        | Brain Machine Interface (BMI)技術の実用化へ向けた研究開発は、今後の超高齢化社会において非常に重要な課題だと思われる。基礎研究を発展させ、少しでも早く実用化へと向けて取り組んでいくため、またこの分野において世界をリードしていくためにも本施策は推進すべきであると考えます。 | 介護については現在の日本が早急に取り組むべき社会問題であると考えられる。要介護者が自らの意思で動ける、思いを伝えられることは問題解決のために非常に重要である。BMI技術の研究開発が進み、実用化されることは、要介護者・介護者の心と体を楽にし、よりよい生活を営むためのも重要であると思われるので、本施策の進展の必要性を強く感じている。 |
| 3624 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24189 | 学術国際交流事業                 | このまま推進すべき        | 重要な事業   | 優秀な研究者が海外で研究することや著名な海外研究者が日本で研究生活を送ることにより、各学術分野の一層の発展と日本の研究の  |

|      |                   |        |       |       |                      |           |   |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|----------------------|-----------|---|--|
|      | 設試等)              |        |       |       |                      |           |   | プレゼンスを示せることを十分に認識すべき。  |
| 3625 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24189 | 学術国際交流事業             | このまま推進すべき | 重要な事業   | 優秀な研究者が海外で研究することや著名な海外研究者が日本で研究生活を送ることにより、各学術分野の一層の発展と日本の研究のプレゼンスを示せることを十分に認識すべき。  |
| 3626 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 農林水産省 | 26101 | 地域活性化のためのバイオマス利用技術の開 | このまま推進すべき | 食料供給と両立する低コスト・高効率なバイオマス利用技術を開発することは、エネルギー資源に乏しい我が国にとって必要。<br>・低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発<br>・バイオマテリアル製造技術の開発<br>・革新的なCO2高吸収バイオマスの利用技術の開発<br>・バイオマス利用モデルの構築・実証・評価                                     | 温室効果ガス排出量の9割を占めるエネルギー起源のCO2排出削減が必要である。化石エネルギーに代替するバイオマスの利用技術は、CO2排出削減技術として期待できることから。   |
| 3627 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24134 | 戦略的創造研究推進事業          | このまま推進すべき | 前世紀からの工業社会の観念から脱却して、GoogleやAmazonのようなプラットフォーム構築及び新たな協調型ソフトウェア開発法の確立につながるような投資がより望まれる。   | 現在の産業構造比率、および今後においても、ICTを核としたサービスが社会経済を支える上で重要であることは明白だが、他省庁を含めて極めて軽視。中でもソフトウェアのモジュール化や規格化による広範囲な再利用は、知的生産性の向上に必要不可欠。  |
| 3628 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24177 | 大強度陽子加速器施設(J-PARC)   | このまま推進すべき | 世界最高強度のパルスミュオンビームを発生させた大強度陽子加速器施設(J-PARC)は、まさにこれから、この世界最高強度のビームを使って、物理・化学・生物・地球科学などの「なぜ」=基礎研究と「どうやったら」=応用研究を進めようとしている。好奇心という人間に特有な欲求を満足させるだけでなく、21世紀の暮らしを豊かにする発見が期待されている、このプロジェクトは積極的に進めるべきである。 | J-PARCは1千数百億円と7年の歳月をかけて、茨城県東海村に建設された。しかし、研究の最先端部分、即ちデータを生み出す部分の建設は始まったばかりであり、このタイミングで重点的に予算を投入することは、既に建設が完了したJ-PARCプロジェクト全体の成否、費用対効果を決めるのに決定的な役割をする。プロジェクトがしり切れトンボにならないよう配慮すべきである。 |

|      |                   |        |       |       |                                      |                  |  |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--------------------------------------|------------------|--|--|
| 3629 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24124 | 植物科学研究事業                             | 改善・見直しをした上で推進すべき | メタボローム研究成果の健康機能性食品開発や食による疾病リスク低減への応用については、具体的な標的が示されない限り、2020年頃までの成果達成に疑問を感じる。高収量作物の開発については、農林水産省研究機関との連携・差別化について具体的な点を明確にすべき。 | 食糧・健康問題は日本が直面する重要な課題であり、植物科学研究が主要な役割を果たすことは言うまでもないが、農林水産省・厚生労働省等との密接な連携と標的設定(どの疾病のリスク低減を目指すか?など)を確立した上で、具体的な目標に沿った情報の整備・提供を開始すべきと感じる。                        |
| 3630 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24009 | 特別奨励研究員事業                            | このまま推進すべき        | 優秀な若手研究者は我が国の将来のステータスを決める重要な人材なので積極的に経済的に支援すべきだ。   | 研究推進なくして国の将来はない。研究には集中が必要であり、経済的負担は研究の妨げになる。   |
| 3631 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム         | このまま推進すべき        | 若い人材を育てるために必要不可欠な事業。   | 博士課程在学中の未来の研究者が、経済的な支えを得ることによって成果をあげてきている。このまま継続して彼らを支援すべき。  |
| 3632 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム                        | このまま推進すべき        | 大学の教育研究機能を高めるために役に立つGCOEプログラムは維持すべきであると考え。定期的に国際シンポジウムも開催されるなど、今後世界で活躍する研究者を育成するための施策も行われていて効果をあげている。                          | 大学ごとに特色を持っているというのは非常に重要であると考え。海外では博士課程の学生は給料を得ているので、国際基準という意味でも学生をRAとして雇用できるシステムは良いと思う。研究者としての意識を植え付ける役に立っていると思う。  |
| 3633 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24174 | 革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築 | このまま推進すべき        | 次世代スーパーコンピュータを推進してほしい。世界一になるかどうかはともかく、これまでに日本に蓄積されてきた技術が陳腐化する前に、「常に世界一を目指す」ことが重要である。   | コンピュータ・インターネット分野は米国独占状態で、プロセッサなどのコンポーネントからクラウド・仮想化などのソフトウェア技術等を通じて、お金だけでなく人材・情報が日本から米国に一方的に流れている。この状況を改善するためには、日本の計算機技術を継続的に発展させ、若い研究者技術者を日本に定着させる事でしか実現できない |

|      |                    |        |       |       |                              |                  |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------------|------------------|--|---|
|      |                    |        |       |       |                              |                  | から。  |   |
| 3634 | 民間企業               | 40～49歳 | 経済産業省 | 27007 | 次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業 | このまま推進すべき        | 現状国内企業が優位である「プリンテッドエレクトロニクス、プリンタブルエレクトロニクス」の発展の支援が必要   | 産業の基盤となる電子デバイス市場において中国など産業が移管するケースが多く空洞化が進んでいると感じます。このままでは国内産業の基盤が崩れ経済にも大きな影響を与えられ事業の推進を強く求めます。   |
| 3635 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト           | このまま推進すべき        | 基礎研究がしっかりと続けられて始めて応用研究の発展あるのです。特に、国が主体とならなければ基礎研究は維持されません。そのためにも、生命科学の基礎研究の元になる遺伝子の保存は欠く事が出来ない重要な施策です。生物には多様な遺伝子があり、それは保存することをしなければ絶滅の危機に瀕しています。遺伝子の保存は欠く事の出来ない国家プロジェクトです。保存というすぐには目に見える成果の出ない施策は忘れられる事に大変遺憾に思っています。 | 多くの遺伝子を保存して、必要な時に必要としている研究者に送る事が出来るためには、多くの人々が地道な努力で保存管理しているからです。これらのことは社会一般の人々には目につき難い地味なことですが、科学発展のためには欠く事の出来ない重要なことです。保存という事業は途中で止めては意味がありません。せっかく保存したものを捨てることと同じになってしまいます。ぜひとも、継続して下さい。 |
| 3636 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24109 | (独)海洋研究開発機構運営費交付金「地球環境変動研究」  | 改善・見直しをした上で推進すべき | 地球環境に果たす海洋の役割は非常に大きいと考えられてきた。しかし、北極海の海水氷問題をはじめとして、海洋の変動・変化の様子がようやく明らかになってきた状況であり、総合的な観測を遅滞なく実施すべきである。特に海洋の変動については、その慣性力ゆえ歯止めがきかなくなる可能性が高い。細心の注意をもって研究・監視すべきである。  | 本研究には、大気から取り込まれたCO2が海洋にどう取り込まれて、蓄積しているかを明らかにする研究をはじめとして、地球環境の将来予測を行う上で必要不可欠なデータが取得されている。世界中でこの研究を完遂できる能力を持った研究機関は少なく、アジア地域では日本の研究機関が唯一と言ってよい。環境問題に対する研究分野での国際貢献からも実施が必要な研究課題と言ってよい。         |
|      |                    |        |       |       | 世界トップレ                       |                  | IPMUは、新進気鋭・成長期の機構として注目しています。また、仕事上、一般の方々の見解を耳にする機会が多いのですが、   | 上記に加え、成長中の研究組織の支援を引くと、日本の優秀な研究  |

|      |                    |        |       |       |                        |           |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------|-----------|--|--|
| 3637 | 民間企業               | 40～49歳 | 文部科学省 | 24136 | ベル研究拠点プログラム(WPI)       | このまま推進すべき | 一般の方々の人気や関心も高く、その成長は皆さんがそれぞれの世界で生きる上で、元気をもらうエネルギー源になっています。ぜひ、支援をお願いします。                              | 者が、海外に流出してしまいます。日本に研究の中枢を置くことは、施設周辺の街の活性化にもつながると思います。  |
| 3638 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | このまま推進すべき | 本研究プログラムの設備および成果をライフサイエンスの分野のみならず他分野に貢献させるべく、今後も強く推進する必要がある。   | 本研究プログラムによる構造解析の設備および成果は、本研究プログラムのみならず、ライフサイエンス全体に対し、非常に重要な位置を占めている。今後ますますタンパク質の構造的理解が求められることが予想される。   |
| 3639 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24135 | 最先端研究開発戦略的強化費補助金       | このまま推進すべき | 本施策は、我が国の研究開発力の強化にとって必要な施策であり、推進されるべきである。  | 我が国が世界の中で重要な位置を占め続けるには、世界最先端の技術力を保持し続けなければならない。本施策は、最新鋭研究設備の設計・開発・整備を行うことによって、研究・開発能力を強化し、この目的に大きく資するものである。逆に、このような施策がなければ、膨大な予算を費やし戦略的に、研究開発能力を強化している中国に後れを取ることは目に見えている。これらの理由により、本施策は是非とも推進されるべきである。 |
| 3640 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24172 | 先端研究施設共用促進事業           | このまま推進すべき | このたび同位体顕微鏡という世界でも類のない貴重な顕微鏡を使わせていただけることになりました。私たちは生物・医学系の研究をしておりますが、研究の推進に役に立ち、ひいては国民のための利益になると思います。 | 施策がなければこのような顕微鏡が存在することすら知らなかったと思います。いろんな分野の研究者に広く知られることで将来の国民の生活向上に役立つと思います。   |
| 3641 | 民間                 | 50～    | 総務    | 20111 | 新世代ネットワーク基盤            | このまま推進す   | 現在のインターネットが内包する諸問題を解決し、10年、20年先のネットワークを構築するという取り組みは、いままでの屋上屋を重ねるよう                                   | 次世代ではなく、新世代という研究は、民間企業で短期的ROIが期待できず、なかなか取り組み難い。しかしながら、このような取り組み無しでは、将来における情報産業による  |

|      |                    |        |       |       |               |           |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---------------|-----------|--|---|
|      | 企業                 | 59歳    | 省     |       | 技術に関する研究開発    | べき        | なインターネットの進化とは別に、アーキテクチャなどの根本からぜひとも取り組んでいただきたい。                           | 国民生活の発展が得られないことは自明である。<br>このような、長期展望にたった研究は、まさに国が中心となって推進するものである。   |
| 3642 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24010 | 女性研究者研究活動支援事業 | このまま推進すべき | 女性研究者が研究活動をおこなうための素晴らしい支援に賛同します。   | 女性が社会的活躍の場を得ることにより、日本の将来が明るく元気で健全なものになることでしょう。最優先事項と考えます。   |
| 3643 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24105 | 先端的低炭素化技術開発   | このまま推進すべき | 低炭素社会の構築は日本だけでなく世界的にも重要であり、強く推進する必要があります。                                | 化石燃料に対する依存度を軽減するために、もっとも効果が期待できると考えられる。   |
| 3644 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24013 | 理数学生育成プログラム   | このまま推進すべき | とても興味深い新しい試み。  | アスリートたちが集う競技会のように、理数系の学生が集って競い合う機会は、roboticsやprogrammingなどの一部の分野を除いてはあまりないようなので、このような試みはたいへん斬新。参加者も大いに刺激を受け、とてもよい効果を生み出すはず。 |
| 3645 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金      | このまま推進すべき | 研究者間の競争を促しより高いレベルの研究が促進される研究のための競争的資金は推進されるべき                            | 競争的研究資金により研究資金を獲得プロセスは公平性が高く国民の理解も得られやすい。競争原理の導入により研究者社会のガラパゴスのイメージの払拭にも役立つ。  |
| 3646 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24149 | 国立大学法人等施設の整備  | このまま推進すべき | 国立大学は耐震改修が未整備な建物が多数残っており、安全確保及び研究内容の高度化に対応できる改修工事に対する予算措置を重点的にすべきだと考えます。 | 国立大学等の高等教育機関は、将来の日本を背負う若者の教育施設であり、世界に通用する人材育成のためにも、妥当な投資だと考えます。   |
|      |                    |        |       |       |               |           |  | 科学研究補助費は右肩上がりが増加しているが、その恩恵を受けている科学者(グループ)は一様に増加している   |

|      |                    |        |       |       |   |           |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---|-----------|--|--|
| 3647 | 公益法人               | 50～59歳 | 文部科学省 | 24129 | バイオリソース事業   | このまま推進すべき | バイオリソース事業の予算削減をとりやめ、バイオリソース事業を従来通り継続して欲しい。   | わけではない。科学研究補助費を十分に受けられない科学者も多く、研究費の捻出に苦慮している。国外、国内、一般企業と比較して、バイオリソース事業によるバイオリソースの提供は廉価であり、研究費の低予算化に大きく貢献している。                                  |
| 3648 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 経済産業省 | 27005 | グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発(化学品原料の転換・多様化を可能とする革新グリーン技術の開発) | このまま推進すべき | 現代社会は、石油に依存した社会で、限られた資源を人類は、争って奪い合っており、地球環境を考えた際には、石油に依存しているあまり、多くの温暖化ガスを排出している。地球温暖化を防ぐためには、温暖化ガスを減少させる必要があり、現在のそのような産業の発展を追求する社会だけではなく、将来は、画期的な技術開発と環境の保全とが両立した、持続的な低炭素社会の構築が必ず必要になると考えられる。このような政策は、必要不可欠であり、かつ今後、重要な取り組みになると思う。 | 持続可能な低炭素社会の構築には、有限資源ではなく、無限資源である「植物」の利用は、絶対に必要である。この政策の中で、特に、植物由来化合物のポリマー化技術・材料化技術の確立は、植物を利用していることから、大変重要であると考えられる。                            |
| 3649 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム   | このまま推進すべき | 博士終了後のキャリアパス形成に重要なプログラム  | 現在、博士課程への進学の道を選ぶときには相当の覚悟が必要だが、キャリアパスを整備することによって不安を軽減することができる。これによって優秀な人材の活用が進められる。  |
| 3650 | 大学・公的研究機関          | 50～    | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費   | このまま推進す   | 研究活動の裾野の拡大、新採択率30%の数値目標を掲げた若手研究者の「チャレンジ機会」の拡充、ハイリスク研究機会の倍増などは、我が国の優れた学術研究基盤を維持し、強化するための必須の施策である。また、国民  | 我が国の学術水準の高さは研究者の底辺の高さに支えられている。今後、大学・研究機関等で支給される研究費の減少が見込まれる中で、こうした研究の基盤を維持し、強化するためには、別の予算的措置が必要である。そのために本施策に見られる科学研究費補助金の裾野を広げ、若手に手厚い配分を行う等の指針 |

|      |  |            |               |       |  |                              |   |   |
|------|--|------------|---------------|-------|--|------------------------------|---|---|
|      | (独<br>法・公<br>設試<br>等)                          | 59歳        | 省             |       | 補助金  | べき                           | との科学・技術対話の<br>推進によって、科学研<br>究費補助金が我が国の<br>叡智を一層豊かなもの<br>にするとともに、国民生<br>活に還元されていること<br>を広く浸透させることは<br>必須の広報活動であ<br>る。  | は的確といえる。研究<br>者の底辺の広さが世界<br>的研究成果を生む土壌<br>となるはずである。ま<br>た、近年の児童生徒の<br>理科離れや、学術研究<br>に対する国民の関心が<br>必ずしも高いとはいえ<br>ない状況を鑑み、国民<br>との科学・技術対話を<br>促進することは、日本<br>の持続的発展のために<br>不可欠の取り組みとい<br>える。                                       |
| 3651 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 50～<br>59歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24124 | 植物科学研<br>究事業                                     | このまま<br>推進す<br>べき            | 植物科学の生み出す知<br>識を知的財産に転換<br>し、社会をより豊かに<br>する必要がある。   | 植物は多様なポテンシ<br>アルを持っているにもか<br>かわらず、それを利用<br>した技術創出への取組<br>が遅れている。  |
| 3652 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 40～<br>49歳 | 総務<br>省       | 20107 | 戦略的情報<br>通信研究開<br>発推進制度                          | 改善・見<br>直しをし<br>た上で推<br>進すべき | ICTに着目する点は<br>大いに評価できるが、<br>何を解決あるいは新創<br>出するのか全く不明で<br>、枠組み自体を再考す<br>べき。   | 独創性・新規性と若手<br>・女性は必ずしも合致<br>せず、独り立ち途中<br>の研究者を中心に、新<br>技術創出から地域活<br>性化につなげるのは<br>最初から無理がある。<br>但し、ソフト人材育<br>成は産業構造的にも<br>雇用拡大にも極めて<br>重要。   |
| 3653 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24012 | 博士課程教<br>育リーディ<br>ングプログラ<br>ム                    | このまま<br>推進す<br>べき            | 日本の広い意味での<br>外交の遅れを取り戻<br>すためには、世界で<br>活躍できる人材を<br>供給する必要がある。<br>また、今後はもの<br>づくりだけではなく、<br>新たな価値を創造<br>できる人材を輩出<br>する必要があること<br>は、昨今のアップル<br>社の活躍を見れば<br>明かである。グー<br>グルは1998年に<br>スタンフォード大<br>学の2人の博士学<br>生が独自のページ<br>ランク技術を基に<br>創設したのである。 | 例えばISOの標準化<br>ひとつをとっても日<br>本側の委員、特に<br>企業出身の委員は<br>博士学位を持って<br>いない人が大半で<br>ある。こと外交や<br>交渉が絡む世界情<br>勢では、まずPhD<br>を持っていないと<br>該当する国際コ<br>ミュニティで発言<br>力を持つことは不<br>可能である。真の<br>国際人材を育成す<br>るためにも、ト<br>ップアップをねら<br>う大学院教育が<br>必要である。 |
| 3654 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24143 | 大学院教育<br>改革推進事<br>業のうち、<br>グローバル<br>COEプログラ<br>ム | このまま<br>推進す<br>べき            | 世界と伍する競争<br>力を有する大学<br>づくりのため、<br>国際的に第一級<br>の力量を持つ研<br>究者等を育成<br>することは国策<br>として取り組む<br>べき課題であり、<br>大学間に競争<br>原理を持ちこむ<br>グローバ   | グローバルCOE<br>プログラムは、大<br>学間で研究者<br>の育成方法を<br>競いあい、よ<br>りよいアイ<br>ディアを出<br>していき原<br>動力とな<br>ると考えら<br>れる。また<br>世界的に<br>みて大学<br>院生への<br>資金的サ<br>ポートが<br>遅れて<br>いるが、<br>この点<br>に  |

|      |                    |        |       |       |                             |           |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|-----------------------------|-----------|--|---|
|      | 等)                 |        |       |       |                             |           | ルCOEプログラムは適切な方法である。  | 関してもグローバルCOEプログラムはよくカバーしている。  |
| 3655 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ      | このまま推進すべき | ターゲットタンパク研究プログラムは、現在までに多くの蛋白質の機能解析から立体構造解析の成果が現われてきている。現在までの研究成果を社会へ還元するための段階であると考えられ、最終年度である23年度も積極的に推進すべきである。              | ターゲットタンパク研究プログラムは、食糧問題、環境問題、医療など社会還元への期待の大きい蛋白質について研究を行っているプログラムである。23年度は現在までの成果を社会で利用するための研究を行う大事な時期であり、積極的な支援と取り組みの推進が必要である。  |
| 3656 | その他                | 60歳～   | 経済産業省 | 27167 | 二酸化炭素削減技術実証試験事業             | その他       | 1)他国の方法を日本で二酸化炭素削減技術実証試験事業としておこなうものである。<br>2)日本は地震火山の災害国であるので、地中貯留は不規則なガス噴出を招き、結果的に人工的に災害を加速する。<br>3)地下貯留そのものを見直すべきである。      | 1)ガスの平行移動の発想で地下貯留であるので、問題がある。<br>2)地表でそのガスを処理する方法が加味されていない。<br>3)あくまでも海外の安定大陸で成功した地下貯留の方法を日本で行おうとしているため問題が残る。詳細な研究等の前に、日本でも適切な手法である科学的概略を説明する必要がある。<br>4)たとえ地下で貯留できても、基本的に循環するので、固定や削減にはならない。 |
| 3657 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24144 | 私立大学等経常費補助                  | このまま推進すべき | 日本の大学生の約8割をかかえる私立大学における高等教育の充実には日本の成長の基盤である。日本が直面している種々の問題の課題解決のためには、高等教育の、特に質を高める必要がある。                                     | 約8割の大学生をかかえる私立大学の教育研究環境の基盤を整備しなければ、将来を担う人材の競争力ひいては国全体の競争力が落ちることはあきらかであるため。  |
| 3658 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラ | このまま推進すべき | グローバルCOEプログラムは、日本の既存の大学組織では困難であった新しい研究分野の研究体制を構築し、そのための人材育成を行うことに成功してきた。競争的な資金配分により、大学運営にも新しい研究分野でのグローバルなレベルでの研究競争に取り組むインセンテ | グローバルCOEは、日本の研究大学間の競争を高め、各大学が得意分野を自覚し、資源を集中し効率化していくための起爆剤として十分に機能した。新しい分野の教育体制も整ってきたところで、縮小・中断することは、拠点に結集   |

|      |                    |        |       |       |                          |           |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------------|-----------|---|---|
|      | 設試等)               |        |       |       | ム                        |           | イヴを生んだ。競争的資金の獲得が大学にとって魅力的なものにするためには、間接費を配分することが必要である。間接費の復活を含め増額が必要である。   | した研究者の雇用を失わせるだけではなく、育ちつつある学生の活躍の場もなくなることを意味する。  |
| 3659 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24006 | ライフサイエンスデータベース統合推進事業(仮称) | このまま推進すべき | 分子生物学はより網羅的、包括的な解析が主流になっており、データベースの拡充が必要不可欠である。したがって当事業の今後の推進を強く求める。  | 本事業に含まれる蛋白質立体構造データベース(Protein Data Bank Japan, PDBj)は世界に三か所しかない国際拠点の一つであり、当分野で今後も日本がイニシアティブをとっていくためにはぜひとも必要である。 |
| 3660 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24146 | 私立大学等研究設備等整備費補助          | このまま推進すべき | 日本が直面している種々の問題の課題解決のためには、高等教育の質を高める必要がある。大学生の約8割の高等教育に携わる私立大学の研究環境整備は日本の成長に繋がる。米国の研究開発費の資金構造は私立大学でも連邦・州政府からの資金割合が圧倒的に多い(科学技術指標2010, p.39図表1-3-12)。米国型にまでする必要はないが、研究環境までも自己資金でまかなっている私立大学の研究環境整備を支援すべきである。 | 国立大学に比べあまりにも脆弱な私立大学の研究環境を整備しなければ、日本全体の研究力・開発力の底上げにならない。   |
| 3661 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24147 | 私立学校教育研究装置等施設整備費補助       | このまま推進すべき | 日本が直面している種々の問題の課題解決のためには、高等教育の質を高める必要がある。大学生の約8割の高等教育に携わる私立大学の研究環境整備は日本の成長に繋がる。米国の研究開発費の資金構造は私立大学でも連邦・州政府からの資金割合が圧倒的に多い(科学技術指標2010, p.39図表1-3-12)。米国型にまでする必要はないが、研究環境までも自己資金でまかなっている私立大学の研究環境整備を支援すべきで    | 国立大学に比べ脆弱な研究環境を整備しなければ、日本全体の研究力・開発力の底上げにならないため。   |

|      |                    |        |       |       |                        |           |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------|-----------|---|--|
|      |                    |        |       |       |                        |           | ある。   |  |
| 3662 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 50～59歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト     | このまま推進すべき | バイオリソースプロジェクトは、国策として推進することを宣言している「生命科学研究」の正に基盤となるものであり、さらなる充実が必要である。また、このプロジェクトは大学・研究所等での研究に必須であるのみならず、実験プロトコルと実験材料をセットにして初等中等教育機関に提供することで、初等中等教育における理科教育（特に実験系の授業）の充実にも貢献する。 | 世界をリード生命科学研究を推進するには、研究材料の質的・量的充実が必須であることは言うまでもない。次代の研究を担う若者の育成も重要であるが、昨今の若者の理科離れは極めて問題である。これに対する有効な対策の一つは、初等中等教育における理科教育（特に実験系の授業）の充実である。バイオリソースは、若者の興味を引き、教育効果の高い生物実験・実習を提案することで、若者の理科離れに歯止めをかけることに貢献できる。 |
| 3663 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 20～29歳 | 文部科学省 | 24124 | 植物科学研究事業               | このまま推進すべき | 植物科学分野は環境問題や食料問題解決に非常に有効な研究分野であると思うので、このまま推進すべき。  | 日本は資源や食料自給率が低いので、エネルギー、食料増産、資源の有効活用などの問題に積極的に取り組むべきだと思います。その為、二位ではいけないと思います。二位で良いという意気込みでは良い結果はでないと思います。   |
| 3664 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24150 | 理科支援員配置事業              | このまま推進すべき | 理科離れが言われて久しいが、その対策として実際の最前線の研究を経験した大学院生を教育現場に配置する施策は有効と考えらる。  | 技術立国である我が国での理科教育は国の根幹に関わる問題。理科教育に別に専門の人員の配置し、面白さを伝え好奇心を育むのは有効な手段。加えて、博士号取得者のその後のキャリアが社会問題となっているがキャリアパス多様化にも有効に機能すると期待できる。  |
| 3665 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | このまま推進すべき | 本プログラムは構造生物学→生物学→生命科学の分野発展に少なからず貢献しているものであり、このまま推進すべきであると考え。  | 本研究プログラムにおいて、とりわけこれまで高難度と言われたタンパク質の構造を迅速に解析可能になったことは構造生物学に関わるあらゆる分野にとって不可欠であり積極的に進めるべきである。   |
|      |                    |        |       |       |                        |           |   | 世界初かつ唯一の衛星搭載降雨レーダー   |

|      |                   |        |       |       |                                       |           |  |   |
|------|-------------------|--------|-------|-------|---------------------------------------|-----------|--|---|
| 3666 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 総務省   | 20116 | 電磁波計測基盤技術の研究開発                        | このまま推進すべき | 日本の衛星搭載レーダー技術は世界をリードしており、これからもEarthCARE、GPMなどの衛星搭載雲降水レーダーの技術開発や、次世代の衛星技術開発をおおいに推進すべきである。                           | TRMM PRは、世界をリードする日本の電磁波計測基盤技術の成果であり、現在12年に及んで得られたデータは世界中の研究者に利用されて、地球気候を理解するためのカギとなる熱帯亜熱帯降水について次々と新しい知見をもたらしている。将来にわたって日本は、このように世界的に評価されるレーダー技術研究を推進すべきであるため。 |
| 3667 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24004 | 次世代がん研究戦略推進プロジェクト                     | このまま推進すべき | 本研究は、人類の生命にとっても最も大きな脅威に対して立ち向かう科学の成果であり、ぜひ推進すべきと考える。日本が誇る最先端が学術技術を結集し、日本国民ばかりでなく、世界の人々もその恩恵に預かれるようがん対策の見本を示すべきである。 | 日本国の高い科学技術は明治以降の国策的な科学に対する理解と大学における国家的事業として支えられて来た。従って、その成果を日本国のみならず全世界に恩恵を与えることができれば日本の理解も深まると考えられる。また本来税金で支えられてきた基礎科学の成果を広く人類に還元する最良の機会である。                 |
| 3668 | 民間企業              | 40～49歳 | 文部科学省 | 24187 | 産業イノベーション加速事業【戦略的イノベーション創出推進】         | このまま推進すべき | 産学連携にもかかわらず最長10年間の長期的視野を考慮していることに特色を有する研究開発事業であり、新しいタイプの研究開発成果の出現が期待できる。   | 産学連携により研究開発チームのバラエティを加味した上で、最長10年間の長期的視野を考慮して研究開発が進められており、これまでの大学等での研究成果を粘り強く実用化まで持つていくことが可能であると考えられる。これまでこのようなタイプの事業はあまりなく、骨太の研究開発成果の出現が期待できる。               |
| 3669 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24020 | イノベーションシステム整備事業(イノベーション成長戦略実現支援プログラム) | このまま推進すべき | 結構な施策である推進すべきです。   | 大学の成果は知的財産として保護し推進すべきです。  |
|      |                   |        |       |       |                                       |           | 数学が高度な科学理論を表現する基礎言語として、科学の革命的な進展の度に大きな役割を果たしてきたことは歴  | この施策が実際に効果を上げると予想される証拠として、平成19年   |

|      |                       |        |       |       |                          |           |   |   |
|------|-----------------------|--------|-------|-------|--------------------------|-----------|---|---|
| 3670 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24019 | 数学・数理学と他分野の連携拠点形成支援プログラム | このまま推進すべき | 史から明らかである。現代においては科学技術は高度に発達し、各分野の専門家の間での相互理解は容易でなくなっている。数学はモデルにとられない普遍的な言語であるので、こうした諸分野間の本質的な相互理解には不可欠である。こうした状況から、本施策は研究者間の連携を深めることを推進するものであり、実効性が極めて高いことが予測される。よって積極的に推進すべきである。 | 度から始まったJSTの戦略的創造推進事業「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」が挙げられる。実際、本戦略領域への採択率が約10%程度であったことから、多くの研究者が諸分野との連携に高い関心を示していることが伺える。このことは、数学者の側が本施策を有効に実施できる基盤をすでに構築していることを意味している。  |
| 3671 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24140 | RIBチームファクトリー計画の推進        | このまま推進すべき | 世界最高レベルの研究施設として、現在もこれからも最先端の研究が進むことでしょう。宇宙でどのように元素が作られたかを解明するというような、夢のある研究に大変期待しています。これからもどんどん研究を進めて頂きたいと思っています。  | RIBFIは、海外からも大変注目されており、間違いなく世界をリードしていく研究施設だと思います。今後どんどん研究成果を挙げて、さらには優秀な人材を育て、排出するためにもぜひとも推進するべきだと思います。   |
| 3672 | 民間企業                  | 50～59歳 | 総務省   | 20112 | ユニバーサル音声・言語コミュニケーション技術   | このまま推進すべき | 多言語対応の文章・音声翻訳アプリとして、公開実証試験が始まっています。それ自体が先端的な業績ですが、さらに精度を上げ、対象言語を増やすことによって訴求効果も格段に増すことと思います。また、非言語コミュニケーションの研究開発は挑戦的な課題で、一企業によるよりも国家的な取り組みが必要です。                                   | データ処理技術の向上とネット上のデータ爆発によって、言語処理技術開発の速度は日々速まっています。この分野の技術は、開発を減速すれば置き去りにされるという状態にあります。規模をともなった継続が必要です。また、最新の言語処理はデータ駆動型なので、ソフト構築よりもデータ構築のために大きなコストがかかります。そういったデータ構築は新しい雇用創出に直結するため、技術だけではない社会還元の効果も期待できるものです。 |
| 3673 | 民間企業                  | 40～49歳 | 経済産業省 | 27159 | 省エネルギー一革新事業              | このまま推進すべき | 省エネルギー技術は日本としての差別化技術としてなくてはならないものである。本事業をとおして積極的に投資し、革新的な省エネルギー   | 革新的な省エネルギー技術について、基礎から実用化に至るまで、各ステージで適切な取り組みがなされており、過去の事業においても着実な成果が出ている。  |

|      |                   |        |       |       |  |                         |   |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--|-------------------------|---|--|
|      |                   |        |       |       |  | 技術を広く開発・実用化させていくべきと考える。 | 省エネルギー技術は日本の命運を握るものであり積極的な投資が不可欠。   |  |
| 3674 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ                   | このまま推進すべき               | ターゲットタンパク研究プログラムは、4年目に入り、蛋白質の機能解析から立体構造解析へと着々と成果が進捗しています。さらにステップを進める局面でありますので、最終年度である23年度以降も積極的に推進すべきだと思います。          | ターゲットタンパク研究プログラムは、有用かつ難易度の高い蛋白質研究に焦点を絞って行っている研究プログラムでありますので、医療など幅広い分野の社会還元への期待は大きいと考えられます。23年度は非常に重要な時期であり、積極的な支援と精力的な取り組みの推進が必要だと思います。    |
| 3675 | 民間企業              | 60歳～   | 文部科学省 | 24136 | 世界トップレベル研究拠点プログラム                        | このまま推進すべき               | 研究機関の予算は、原則削るべき手はない。日本においては基礎研究がないがしろにされているような気がしており、このままでは世界に遅れをとることになるのではないかと、危惧している。世界一を目指さなければ、技術や研究の発展はないと考えている。 | 世界に先駆ける研究であれば、無制限といえないが、潤沢な予算をつけなければ、研究は進まないだろうし、研究者も育っていかない。基礎的な研究は、すぐに結果が出るものではないし、長い期間と多額の資金が必要である。                                     |
| 3676 | その他               | 30～39歳 | 文部科学省 | 24181 | イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム)     | このまま推進すべき               | 責任組織を京都府及び京都市とし、京都に本社を構え世界を代表する会社が共同研究企業として参画し、国公立私大を含めた総合的な研究体制を構築している事業をこれからも国をあげて継続させたい必要がある。                      | 最先端の研究成果を多数創造・発信する研究型総合大学や研究機関の存在、ナノテクノロジーを基盤とする高度な製品開発力により世界をマーケットとして展開する高機能製造業企業が集まる京都地域の強みを最大限に活かした世界トップレベルの研究をこれからも継続し国民に成果を還元して欲しいから。 |
| 3677 | 民間企業              | 30～39歳 | 経済産業省 | 27005 | グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発(化学品原料の転換・多様化を | このまま推進すべき               | 資源の少ないわが国にとって、将来の石油枯渇リスクを回避し、持続可能な低炭素社会を実現することは急務である。高強度、軽量といった優れた物性をもつ天然材料であるセルロー                                    | わが国の基幹産業の一つである自動車の全重量の8割を金属が占め、そのうちの大部分を高強度部材用の鋼鉄やアルミニウムが占めている。これまでに多くの天然由来樹脂による置き換えが検討されてきたが、これらは強度が低く、使用用途が従来の樹脂内装の一部に限定されている。鋼鉄の5       |

|      |                    |        |       |       |   |                  |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---|------------------|---|---|
|      |                    |        |       |       | 可能とする革新グリーン技術の開発)   |                  | スを自動車などの高強度部材に適用する本施策は早急を実施されるべきである。  | 倍の引張強度を持つセルローズを用いた本施策の樹脂複合材料は高強度、低比重であるため、高強度部材への適用が期待でき、更には製造及び走行時に発生するCO2を大幅に削減できる。                           |
| 3678 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24008 | テニユアトラック普及・定着事業   | このまま推進すべき        | 若手研究者自立のための施策は重要だと思うから。   | 将来の学術研究を担う若手研究者に対する支援を続けることは必要です。   |
| 3679 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム   | このまま推進すべき        | 日本は資源がない国なので、科学技術で国を新興していくしかない。それにもかかわらず、一律に予算を削減するというのはいかがと思う。グローバルCOEプログラムは先端研究や若手研究者の育成で非常に成果を挙げている。このようなすぐれたプログラムはこのまま推進していくべきである。        | 上で理由も述べた。   |
| 3680 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 農林水産省 | 26108 | 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業                                    | このまま推進すべき        | 食料自給率の低下、食の安全や信頼、地球温暖化などの環境問題など、農業や食料を取り巻く課題は、国民にとって最も重要な問題であり、増加している。これらの諸課題を解決すべき事業として、さらに拡充が必要である。   | 農業の担い手の減少や高齢化など農業が抱える問題は多い。これらを技術的な方策で解決するためには、省力技術や経営安定技術の開発が望まれる。この事業は、現場ニーズを踏まえた実用化研究を推進するものであり、有効性が極めて高いため。 |
| 3681 | 民間企業               | 40～49歳 | 経済産業省 | 27005 | グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発(化学品原料の転換・多様化を可能とする革新グリーン技術の開発) | 改善・見直しをした上で推進すべき | 化学品原料のバイオマス転換に関する技術開発をこれまで以上に強気に推進すべきであると考えます。(予算額、テーマ数の上積みが必要だと考えます。)原料のバイオマス転換には、安価なバイオマス原料の調達に関する技術開発、インフラ整備等も重要になるため、他省庁と連携を取りながら政府主導で推進す | 化石資源の少ない日本国が、将来必ず起こる石油危機(石油価格高騰)を乗り越えられる道理が無い以上、化学品原料のバイオマス転換技術を諸外国に先駆けて獲得することは必要不可欠であると考えます。                   |

|      |                    |        |       |       |                          |           |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------------|-----------|--|--|
|      |                    |        |       |       |                          |           | べきものと考えます。   |  |
| 3682 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24010 | 女性研究者研究活動支援事業            | このまま推進すべき | 女性研究者の支援は環境整備等を含めて中長期的に支援していく必要がある。  | 新成長戦略のシナリオに沿っている。  |
| 3683 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金                 | このまま推進すべき | 科研費は予算削減の対象からはずして、むしろ予算を増加させる方向で考えるべきである。  | 日本は資源がないので、科学技術でやっていくしかない。科研費は科学の研究にとって不可欠のものである。  |
| 3684 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 60歳～   | 総務省   | 20004 | 脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発 | このまま推進すべき | <p>脳機能解明とそれに基づいたブレインマシンインターフェイス(BMI)は、とりわけ、高度成熟社会での少子高齢化、介護、障害者の社会参加、高度ストレス(環境・心)、情報通信量の巨大化、エネルギー等の問題解決にも関わっており、非常に重要である。</p> <p>欧米でも巨額の研究予算が投じられ国家レベルでの取り組みも行われている。</p> <p>日本は、少し前まではBMIでは遅れをとっていたと思われるが、基礎研究の進展により、最近では、欧米を追い越しているところもある。また、基礎研究や技術の発展と共に、従来から強かったロボット技術を生かし、BMIでイニシアチブをとることができれば、巨大輸出産業にもなりうる。早急な研究の進展が必須である。</p> | BMIの進展は、失われたり弱くなったヒトの機能を補うばかりでなく、高齢化社会の介護問題の解決にもつながる。また脳機能の解明は、BMIばかりでなく、適切な知育・発育環境を作り出したり、次のような高度成熟社会がかかえる問題の解決にもつながる。たとえば、精神疾患の早期発見・治療ができる、こころのひずみを早期に見いだし対処できる、ストレスや精神疾患の適切なカウンセリングができる、心と体の両面での安らぎを客観的に評価しより健全な社会を構築するなど。更に脳は、20ワットのエネルギーしか使用していないにもかかわらず、莫大な情報処理を行っている。この情報処理機構を模倣することができれば、急激に増大している情報通信に使われているエネルギー問題にもなる。このように、本施策は、非常に重要であり、進展させる必要がある。 |
|      |                    |        |       |       |                          |           | 本施策はICT(情報通信技術)を用いて環境保全、気象予測、電磁環境保護、時間標準等  | 本施策の中で注目を引いたのは、気象レーダなどの衛星搭載センサを開発するだけでなく、  |

|      |                   |        |       |       |                        |           |  |   |
|------|-------------------|--------|-------|-------|------------------------|-----------|--|---|
| 3685 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 総務省   | 20116 | 電磁波計測基盤技術の研究開発         | このまま推進すべき | の研究開発を行うもので、電磁波を有効利用して我々の社会を豊かにしようとするものである。研究分野は、国際競争や国際協力が不可欠なもの、また日本国内に特有のものなど多岐に渡っているが、人類の貴重な資源である電磁波を用いる点が共通である。我々の生活を豊かにするだけでなく社会経済の発展にも寄与するので、是非とも推進してほしい。 | それを用いて世界の雲分布及び降水の計測を実現するというもので、現在よりも高精度で地球環境を観測するのは極めて重要である。また、電磁波は目に見えないために干渉の問題があるが、これを解決し、病院などでも安全にかつ便利に電磁波を用いた装置を使用できるようにすることは、我々の生活にとって不可欠であり、研究開発推進の継続を望む。  |
| 3686 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24176 | 光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発 | このまま推進すべき | 更に国としてできる限り増強すべきところと考える。大変重要な基盤技術であり、大いに推進すべきところと考える。  | 加速器を用いた粒子線による量子技術およびレーザーを用いた光量子技術は現代の情報・環境・基礎科学・医療のイノベーションの源泉であり、生まれる先端科学・技術の大きさだけでなく、この技術を目指した産学の力を育成するための格好の場となっている。これなくしては加速器やレーザーを用いた科学・技術の新展開は起こらない。   |
| 3687 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | このまま推進すべき | ターゲットタンパク研究プログラムは、4年目の22年度に入り、蛋白質の機能解析から立体構造解析へと成果が結実している段階である。さらにステップを進める局面であることから、最終年度である23年度も積極的に推進すべきである。  | ターゲットタンパク研究プログラムは、これまでのプロジェクト等によってもたらされた研究成果や研究基盤を活用し、現在の技術水準では構造解明がきわめて難しいものの学術研究や産業振興に重要なタンパク質をターゲットに選定し、高難度タンパク質の構造・機能解析のための技術開発を行いつつ、ターゲットタンパク質の構造と機能の解明をめざすプロジェクトです。「技術開発研究」では、タンパク質試料をつくる「生産」、立体構造を明らかにする「解析」、および機能を操る「制御」の技術開発を、また、「ターゲットタンパク研究」では、基本的な生命現象の解明、医 |

|      |                    |        |       |       |                           |           |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---------------------------|-----------|---|--|
|      |                    |        |       |       |                           |           | 学・薬学等への貢献、および食品・環境等の産業応用に向けてターゲットとなるタンパク質群の構造・機能解析を、一つのプロジェクトとして進めなければならない。   |  |
| 3688 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト        | このまま推進すべき | 研究が進むにつれ、新たに変異株や遺伝子組み換え体などが単離されていく。単離されたこれらは日本の大切な知的財産であり、単離された後に維持していくこと、いつでも必要な人が利用できる状態にしておくことは、今後の研究の発展において非常に大切である。これを行うのは個人レベルでは難しく、公の機関が必要である。本プロジェクトは実績もあり、既にこの役割を果たしており、今後も続けるべきである。 | 研究はそれぞれの大学、企業、研究所で行われている。それぞれから独立に単離された変異株や遺伝子組み換え体を集約し、管理、供給することは、民間の予算や設備では非常に難しく、公の予算が必要である。現在ではこのプロジェクトは海外にも認められており、需要が非常に高く、今後維持していくべきだと思われる。 |
| 3689 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム         | このまま推進すべき | 次世代のリーダーとなる若手研究者を育成することは、日本の国際競争力を高める上でも重要である。優秀な学生が博士後期課程およびその後のキャリアパスに魅力を感じられるような体制の構築をぜひお願いしたい。  | 現在のグローバルCOEプログラムでは、多くの若手研究者が多くの支援をうけ、国内外の若手同士が切磋琢磨する環境が整いつつある。優秀な若手研究者、学生の成長を促す仕組みの一層の充実をぜひお願いしたい。   |
| 3690 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24019 | 数学・数理科学と他分野の連携拠点形成支援プログラム | このまま推進すべき | この新規事業を採用すべきである。  | 数学は科学の基礎である。応用ばかりに目を向け基礎を怠っても、ブレークスルーを生み出せるわけがない。  |
| 3691 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム         | このまま推進すべき | 大学院における教育機能の強化は、必要である。  | 国際社会で通用する人材育成を目指さなければいけないと思うから。  |
|      |                    |        |       |       | 周波数有効利用に資す                |           | 移動体通信向けの衛星通信の需要は今後も拡大していくが、周波数の   | 携帯電話の場合は、通信エリアを小さくして、周波数利用効率の高い  |

|      |                    |        |       |       |  |           |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--|-----------|--|--|
| 3692 | 民間企業               | 40～49歳 | 総務省   | 20005 | る次世代宇宙通信技術の研究開発（動的偏波・周波数制御による衛星通信の大容量化技術の研究開発） | このまま推進すべき | 有効利用には限界がある。衛星通信の場合、携帯電話と異なり劇的に周波数利用効率を上げることは困難なので、このように1.5倍向上させるのは画期的といえるので、ぜひとも推進して欲しい。  | 変調方式を採用することで収容数を増加できる。しかし、衛星の場合はエリアを小さくすることは限界があるし、選択できる変調方式は限られている。今回の提案は、その中で1.5倍向上させる画期的な技術と考えるので。                                  |
| 3693 | 民間企業               | 50～59歳 | 経済産業省 | 27007 | 次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業                   | このまま推進すべき | 本テーマで対象としている印刷技術による手法は、これまでのエッチング技術による回路基盤製造方法と異なり、余分な部分を廃棄するのではなく、必要な部分を付加するアディティブな手法である。従って、資源の無駄が少なく環境に配慮した手法と言える。また、ロール・ツー・ロールに代表される印刷手法は、精度の向上が実現できれば、大面付けが可能となり、生産コストを大幅に削減することが可能となる。その結果、本技術を利用したフレキシブル電子素子が実現可能となり、ウェアブル情報機器の実現に大きく寄与すると思われる。 | 本テーマは、俗に言うプリンタブルエレクトロニクス技術に属するものであり、各国で関心が高まりセミナー等も多数開催されている。我が国において、この分野で率先して技術開発・蓄積を行うことにより、他国に対するエレクトロニクス部品分野での競争力強化に、大いに貢献すると思われる。 |
| 3694 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト                             | このまま推進すべき | ナショナルバイオリソース事業が、我が国の将来にとって欠くべからずのものである   | バイオリソースは日本の貴重な研究資源であり、また将来産業的にも重要になる資源も多く存在すると思われる。このような研究資源は継続的に維持管理することが重要であり、一旦支援が途絶えた際には、貴重な資源のほとんどが失われることになり大きな損失となる。             |
| 3695 | 大学・公的研究機関（独法・公     | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト                             | このまま推進すべき | ナショナルバイオリソースプロジェクトに関連する予算削除は一切認められない   | 酵母をモデル生物とした生命科学はあらゆる生命科学研究分野の基盤であり酵母株をオープンリソースとしてシェアする事業は本来もっと大きな予算を分配して大規模に運営して然るべき事業であり、将来   |

|      |                    |        |       |       |                        |                  |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------|------------------|--|--|
|      | 設試等)               |        |       |       |                        |                  |  | 的にみて日本の生命科学研究に欠く事ができない。予算の削減には断固反対である。   |
| 3696 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24013 | 理数学生育成プログラム            | このまま推進すべき        | この事業を継続すべきである。   | 理数学生育成プログラムは非常に優れた教育プログラムである。未来の人材に予算を投入しなければ、科学は衰退するばかりである。   |
| 3697 | 民間企業               | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト     | このまま推進すべき        | バイオテクノロジーの進展のためには必須の基礎的な事業だと思います。  | 日本の強みである微生物に関する研究の基礎となるものであると思います。   |
| 3698 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト     | このまま推進すべき        | ナショナルバイオリソース事業が、我が国の将来にとって欠くべからずものである  | 現在までも生命現象の解明と、数多くの研究業績の輩出に貢献してきた。  |
| 3699 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | 改善・見直しをした上で推進すべき | 今後はターゲットタンパクリストの再検討や、創薬等支援技術基盤プラットフォームのターゲットタンパク研究への支援体制を強化する等、改善をした上で継続すべき。                                       | タンパク質の構造解析は困難であるが、本当の意味でのタンパク質の機能を知る上で重要な研究である。ターゲットタンパク研究プログラムは世界的に見ても優れた成果を上げており、数年後にさらなる成果が期待できる。しかし、この分野は国際的にも競争が激しく、また、解析すべき重要なタンパク質の数は膨大である。今後も限られた効率よく成果を上げるために、重要なタンパクを厳選してプロジェクトを進めることが重要である。 |
| 3700 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24177 | 大強度陽子加速器施設(J-PARC)     | このまま推進すべき        | 素粒子から物質・生命まで、とても広い範囲で最先端の研究が行われています。個人的には、超低速ミュオンビームの実現を心待ちにしている海外の研究者の話をよく耳にします。ぜひとも推進させて、世界最高のパルスミュオン施設としても活躍しても | この計画によってもたらされる研究成果は、様々な分野にまたがり、遠い将来を見据えれば、推進して資金を投入することは十二分に価値あることだと思います。  |

|      |  |            |               |       |   |                   |  |  |
|------|--|------------|---------------|-------|---|-------------------|--|--|
|      |  |            |               |       |   |                   | らいたいです。  |  |
| 3701 | 大学・<br>公的研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24119 | ナショナルバ<br>イオリソ<br>ース<br>プロジェクト<br>(NBRP)事業  | このまま<br>推進す<br>べき | 予算削減に反対しま<br>す。  | リソース事業で管理さ<br>れている研究試料はも<br>ともと科学研究予算で<br>作成されたものです。そ<br>ういう意味では国の財<br>産でもあるわけです。国<br>政によりその財産をな<br>いがしろにするのは間<br>接的にしろ、予算の無<br>駄使いに値すると思<br>えます。また、研究試料は<br>個人に属するものでは<br>なく、雑誌に記載されて<br>以降は日本および世界<br>の研究者の共有財産で<br>もあるわけです。その試<br>料の利用などの利便性<br>を維持、向上することは<br>研究の発展にもつなが<br>り、国益とも一致するも<br>のと考えます。従って、<br>貴省には現在の事業の<br>維持発展に尽力いただ<br>きたい次第です。 |
| 3702 | 大学・<br>公的研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 20～<br>29歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24143 | 大学院教育<br>改革推進事<br>業のうち、グ<br>ローバル<br>COEプログラ<br>ム  | このまま<br>推進す<br>べき | 大学院生、一般市民の<br>学びの助けとして必要<br>である。   | GCOEがあつてこそ、未<br>来に向けた大きな研究<br>ができるから。  |
| 3703 | 民間<br>企業                                   | 40～<br>49歳 | 経済<br>産業<br>省 | 27005 | グリーン・サ<br>ステイナブル<br>ケミカルプロ<br>セス基盤技<br>術開発(化学<br>品原料の転<br>換・多様化を<br>可能とする革<br>新グリーン技<br>術の開発) | このまま<br>推進す<br>べき | 持続可能な低炭素社会<br>と将来の石油枯渇に対<br>しても必須技術だと思<br>いますので、このまま推<br>進すべき。   | 植物原材料からのモノ<br>マー原料化技術やその<br>合成技術は化学合成、<br>微生物合成に限らず、<br>将来必須の技術だと思<br>います。また、その合成<br>されたポリマー原材料<br>を改質する技術は日本<br>が最も得意とする技術<br>分野で現在世界をリー<br>ドする改質技術をさら<br>に伸ばすためにも必須。   |
| 3704 | 大学・<br>公的研究<br>機関                          | 30～        | 文部<br>科学      | 24143 | グローバル<br>COEプログラ  | このまま<br>推進す       | この政策は日本の教育<br>水準を充実、向上させ<br>ると共に世界をリード<br>する研究の創造並びに<br>研究者の育成にとって<br>重要でありこのまま推<br>進させていくべきであ<br>ると思ひます。国際競<br>争力の大学づくりを促<br>進させる目的である<br>この補助金 | グローバルCOEプログラ<br>ムの理念の一つ、つ<br>まり世界にリードした<br>研究と人材の育成、に<br>より生まれて育まれて<br>来た研究並びに研究<br>者が多数います。また<br>この政策は始まって数<br>年であり、まだ成熟途<br>中である研究並びに<br>研究者も大勢います。  |

|      |                   |        |       |       |                                  |           |   |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|----------------------------------|-----------|---|--|
|      | (独<br>法・公<br>設等)  | 39歳    | 省     |       | ム                                | べき        | が無くなれば、教育、技術力、人材といった面で国際社会から遅れをとる事になりかねません。そのような事態をさける為にも逆により国際競争力のある日本を形成させる為にもこの補助金を推進させていくべきであると考えます。                    | これらを途中で切り捨てる事は技術力、文化、教育という大事な面で日本の国際競争力を衰えさせる事につながりかねません。このような分野は将来の日本の為にも継続的かつ積極的な支援が必要であると思います。  |
| 3705 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 農林水産省 | 26106 | 鳥インフルエンザ、BSE、口蹄疫等の効果的なリスク管理技術の開発 | このまま推進すべき | これまで以上に推進していくべき。  | BSEは感染症の中でも世界的な問題となっている。しかしこの問題を解決すべき研究は遅れている。これまで以上に力を入れ、予防法、治療法等を確立しなければならない。  |
| 3706 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ           | このまま推進すべき | ターゲットタンパク研究プログラムは、4年目の22年度に入り、蛋白質の機能解析から立体構造解析へと成果が結実している段階である。成果を社会へと還元するため、さらにステップを進める局面であることから、最終年度である23年度も積極的に推進すべきである。 | ターゲットタンパク研究プログラムは、有用かつ難易度の高い蛋白質研究に焦点を絞って行っている研究プログラムであり、食糧問題、環境問題、医療など社会・経済上の意義の高い研究成果を創出し得るものと期待される。23年度は肝心の収穫時期であり、積極的な支援と精力的な取り組みの推進が必要である。 |
| 3707 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト               | このまま推進すべき | 研究遂行に必要な基本的なリソースとして非常に有用であり、有り難く活用させていただいている。   | まずは研究者により管理がされているため、その品質に安心感があること。さらに国内のリソースのため、利用許諾など手続きが明瞭なこと。ほぼ実費のみで提供されるため利用者が多く、それによって品質管理にフィードバックされていること。                                |
| 3708 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト               | このまま推進すべき | ナショナルバイオリソース事業による生物資源の確保は我が国の科学技術分野において非常に大きな国益をもたらすことはいうまでもなく、日本の研究分野の発展に取って必要不可欠なものであり、本事業のこのままの推進を望んでいる。                 | 現在、本事業では、かなりの保存種数を確保していただいているが、今後、更なる拡張が必要とも認識しており、本事業の改善というよりも、現状の体制をこのまま推進することで、さらにより良いものに発展するものと考えている。                                      |
|      |                   |        |       |       |                                  |           | 科学研究費補助金は、  |  |

|      |                    |        |       |       |                              |                  |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------------|------------------|--|---|
| 3709 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金                     | 改善・見直しをした上で推進すべき | 研究者の自由な発想に基づく、ボトムアップ型の競争的資金である。わが国の研究基盤を支える最も重要な研究資金となっている。しかしながら、最近は中心的な基盤研究を含め、採択率が必ずしも高くなく、一層の科学研究費補助金、特に基盤研究の充実を期待したい。 | 大学の運営費交付金が大きく削減する中、優秀で意欲的な研究者であっても必要な研究費の確保が難しくなっている。独創的な研究を行っている研究者が必要な研究費を確保し、研究に専念できる環境の整備を期待したい。  |
| 3710 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム | このまま推進すべき        | 新しい研究結果を日本から発信し続けるには、グローバルCOEによる大学院生の支援が不可欠です。   | グローバルCOEのおかげで、東京大学大学院でお給料(家賃+α)を頂いてます。大学院生が新しい研究を開拓するには3-5年程の時間が必要です。現場で研究を行う20代後半の大学院生には、わずかでもお給料をいただけるといことは経済的にはもちろん、人間としての尊厳を保つために精神的に大きな意味を持ちます。新しい研究を日本から発信し続けるには、グローバルCOEを介して大学院生を支援することが必要です。                            |
| 3711 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト           | このまま推進すべき        | 本プロジェクトは強かに推進すべきであると考えます。本プロジェクト無しにはバイオサイエンス研究は著しく停滞しその結果、国益を損ねることとなります。   | 科学技術立国は我が国の重要政策の一つであります。本プロジェクトにより収集、配布されているリソースは多種多様にわたりバイオサイエンスの多くの分野に貢献しています。代替機関として米国のATCCなどがありますがリソースの種類や数が限定的であるばかりでなく生物種の輸入を伴うので検疫等煩雑な手続きが必要にないます。また価格も非常に高く、研究者にとって負担となります。そのような訳で、本プロジェクトの縮小は研究を停滞させることとなり、国益を損ねるものです。 |
|      |                    |        |       |       |                              |                  |  | [推進に賛成する理由]<br>近年はインド、中国にも科学でも劣っている。ゆ   |

|      |                       |        |       |       |                        |                  |  |   |
|------|-----------------------|--------|-------|-------|------------------------|------------------|--|---|
| 3712 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム          | 改善・見直しをした上で推進すべき | <p>GCOEプログラムのおかげで、研究に集中できる時間が圧倒的に増えた。中でも研究費の援助は学生にとっては非常にありがたく、情報収集や研究発表の機会が飛躍的に増えた。是非プログラムを推進して欲しい。</p> <p>しかし、求める改善点がある。評価基準をあまりにも論文数に頼りすぎていると感じる。結果、すぐに書けない研究を避ける傾向があり、結果レベルを下げている。もっと多角的な側面から研究を評価して欲しい。</p> | <p>とり教育の世代が社会で活躍し始める頃にはその差が顕著になることは明らかである。ある議員がスーパーコンピュータは一位でなくてはいけないのですか。と質問していて驚愕した。一位でなくて意味がないのが科学の研究なのだ。学生は必死に研究している。どうか継続して援助していただきたいと願う。</p> <p>[改善を求める理由]<br/>思わぬ研究が大発見に繋がるのが科学である。企業の研究所では目先の結果を求めるのは当然だが、大学では目先の結果に囚われずに研究に没頭させて欲しい。やりやすい流行をちょこちょこ食いつぶす方針では、難しい話題は趣味でやるしかない。</p> |
| 3713 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24124 | 植物科学研究事業               | このまま推進すべき        | <p>植物科学は新たな資源の開発に必要であり推進すべきである</p>   | <p>植物は我々の食料やエネルギー資源、医薬品原料など様々な用途に利用されている。さらに今後新たな資源としての可能性も大いにある。農水省などでも植物の応用研究は盛んにされているが、植物の潜在能力の基礎的な側面の研究は応用研究に生かされる重要な分野である。</p>   |
| 3714 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24176 | 光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発 | このまま推進すべき        | <p>量子ビーム技術は、産業応用に密接にかかわり、基礎研究として発展させるべき分野で優先度は高いと思います。基礎研究は、利益が見えにくいことから、優先度を判定することは大変難しいことだと思いますが、専門家によって議論を尽くしてもらいたいと思います。</p>   | <p>光を用いた技術は、将来の応用を見据えて基盤整備を行うことが必要です。この分野において、諸外国に比べて、日本は若手の人材が不足し、研究競争力の脆弱化が憂慮されます。</p>  |
|      | 民間                    | 40～    | 経済    |       | 次世代印刷エレクトロニクス材料・デバイス   | このまま             | <p>裾野が広い印刷業界で</p>  | <p>意匠表現印刷はワールドワイドでの競争が激しい。機能性を有する印刷と</p>  |

|      |                    |        |       |       |                        |           |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------|-----------|---|---|
| 3715 | 企業                 | 49歳    | 産業省   | 27007 | ロセス基盤技術開発事業            | 推進すべき     | 世界に先駆けた先端技術の構築が必要。  | して発展途上でありまさに生き残りを掛けた技術開発の継続が必要と感ずるため。   |
| 3716 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト     | このまま推進すべき | ナショナルバイオリソースプロジェクトは日本が世界に誇るバイオリソースを有し、今後も本プロジェクトを継続し、間違ってもプロジェクトを停止させてバイオリソースを廃棄や散逸させることがあってはならないと考えます。                                   | 個人商店のような研究者のコミュニティーにおいて、研究上必要な研究材料は、これまでは必要に応じて個別にお願いして分譲してもらう必要があった。それは、時間を浪費し、場合によっては必要な材料を探しきれなかったり、分譲をことわられることもあった。それが、本プロジェクトにより、生物種ごとに、膨大なコレクションが収集されたことにより、必要な生物材料が簡便に入手できるようになった。このことは、研究の活性化だけでなく、人件費や研究費の節約にもつながり、日本の科学研究や予算に対してもより良い影響をもたらしていると考えます。 |
| 3717 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24122 | 革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ | このまま推進すべき | ターゲットタンパク研究プログラムは、4年目の22年度に入り、蛋白質の機能解析から立体構造解析へと成果が結実している段階である。成果の社会還元へとさらにステップを進める局面である。日本が世界を先導していくために、最終年度である23年度も積極的に推進すべきである。        | ターゲットタンパク研究プログラムは、有用かつ難易度の高い蛋白質研究に焦点を絞って行っている研究プログラムであり、食糧問題、環境問題、医療などへの貢献は大きいと考えられる。23年度はこれまでの成果が実る肝心の収穫時期であり、積極的な支援と精力的な取り組みの推進が必要である。  |
| 3718 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24140 | RIビームファクトリー計画の推進       | このまま推進すべき | RIビームファクトリーは世界最大強度の不安定核を生成できる施設です。自然界では存在しない未知の原子核を生成し、構造を研究することは不安定核のみならず安定な原子核の物理的な理解や量子力学の理解にまで深い示唆を与えたいと思います。RIビームファクトリーは世界中で建築が進んでいる | RIビームファクトリーの計画は世界をリードするものになっており、原子核科学をはじめとした生物分野への応用なども行われています。物理学に限らず化学、生物学、植物学など幅広い基礎科学への貢献が期待できると思います。   |

|      |                                    |            |               |       |  |                              |   |   |
|------|------------------------------------|------------|---------------|-------|--|------------------------------|---|---|
|      | 設試等)                               |            |               |       |  |                              | RI施設の<br>うち、先駆けて完成した<br>RI施設であり、この計画<br>はよりいっそう推進し、<br>この分野を日本がリー<br>ドしていくことが必要だ<br>と思いますし、それが可<br>能な状況にあると思<br>います。  | 国際的な研究拠点とし<br>てRIビームファクトリー<br>が発展することは国内<br>外の地位の維持、向上<br>にもつながると思いま<br>す。  |
| 3719 | 大学・<br>公的研究<br>機関(独<br>法・公<br>設試等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24003 | (独)海洋研<br>究開発機構<br>運営費交付<br>金「海洋資<br>源・エネルギ<br>ーの探査・活<br>用技術の研<br>究開発」 | このまま<br>推進す<br>べき            | 海洋資源の開発力は、<br>隣国とのEEZ問題も含<br>み、早急に確立する必<br>要がある。またその技<br>術の継続力と新規発展<br>させる力量が、今後さら<br>に求められると考えら<br>れる。   | 資源に乏しい日本で<br>は、他国と比較して、特<br>に大規模なプロジェクト<br>化が必要となる海洋資<br>源の開発力が未だに乏<br>しい。近隣国とのEEZ問<br>題を解決するためにも、<br>新たな資源の探索と実<br>用化を進めるためにも、<br>高度な海洋資源探査、<br>活用技術は必須なもの<br>である。 |
| 3720 | 大学・<br>公的研究<br>機関(独<br>法・公<br>設試等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24149 | 国立大学法<br>人等施設の<br>整備   | このまま<br>推進す<br>べき            | 大学の教育・研究環境<br>の整備は強力に推進す<br>べきである。  | 地方の国立大学の存在<br>は、地域経済に及ぼす<br>影響は計り知れないも<br>のがある。ぜひとも地域<br>活性化・地域の拠点とし<br>て施設整備を推進して<br>いただきたい。   |
| 3721 | 大学・<br>公的研究<br>機関(独<br>法・公<br>設試等) | 20～<br>29歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24143 | グローバル<br>COEプログラ<br>ム  | 改善・見<br>直しをし<br>た上で推<br>進すべき | 現在の形態は予算を研<br>究拠点に重点的に配分<br>するとはいえ、効果的に<br>運用されているかとい<br>う点には疑問が残る。研<br>究費に関しては従来の<br>公募型の研究費に統一<br>し、グローバルCOEプロ<br>グラムへの資金は、大<br>学院学生への給与やポ<br>スドクの雇用などに使<br>用し、人材の活性化を<br>目指すべきである。 | 資源の乏しい我が国に<br>おいて、人材の育成及<br>び確保は重要課題であ<br>り、昨今の科学離れや<br>ポストク問題は、今後50<br>年の繁栄を考慮した際<br>に致命的である。優秀<br>な人材を国内国外問わ<br>ず確保することは非常<br>に重要であると考えら<br>れる。                   |
| 3722 | 大学・<br>公的研究<br>機関(独<br>法・公<br>設試等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24133 | 科学研究費<br>補助金   | このまま<br>推進す<br>べき            | わが国の学術研究を支<br>える非常に重要な施<br>策。学術研究を継続的<br>に支援を続けていくこ<br>とが重要だと思う。予算<br>の拡充も必要。   | 科学研究費補助金で支<br>援された研究は研究成<br>果がすぐに現れるもの<br>ばかりではないと思うの<br>が、そのような学術研<br>究を支援する施策は是<br>非必要だと思う。   |
| 3723 | 大学・<br>公的研究<br>機関                  | 20～        | 文部<br>科学      | 24122 | 革新的タンパ<br>ク質・細胞解   | このまま<br>推進す                  | ターゲットタンパク研究<br>プログラムは世界的に<br>見ても優れた成果を上<br>げている。困難であるた<br>め時間がかかるが、さ  | この分野は国際的にも<br>競争が激しく、限られた<br>予算で効率よく成果を<br>上げるためには、重要   |

|      |  |            |               |       |                            |                              |  |   |
|------|--|------------|---------------|-------|----------------------------|------------------------------|--|---|
|      | (独<br>法・公<br>設試<br>等)                          | 29歳        | 省             |       | 析研究イニシ<br>アティブ             | べき                           | らに期待すべき成果が<br>数年後に得られるもの<br>と考えられる。そのため、<br>今後も継続して推<br>進すべきである。   | なタンパクを厳選してプ<br>ロジェクトを進めること<br>が重要である。   |
| 3724 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24133 | 科研費補助<br>金                 | このまま<br>推進す<br>べき            | 科学技術は産業の発展<br>にとって重要でありさら<br>に推進すべきである   | 科学技術は産業の発展<br>に不可欠であるが、科<br>学技術研究を推進する<br>大学や研究所の研究環<br>境や研究資金は必ずし<br>も十分ではない。むしろ、<br>年々悪化している。<br>科研費補助金が広く多<br>くの研究者に利用され<br>ることが必要である。   |
| 3725 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24119 | ナショナルバイ<br>オリソース<br>プロジェクト | このまま<br>推進す<br>べき            | 混沌としながらも急速に<br>進む生命科学研究にお<br>いて、ナショナルバイオ<br>リソース事業は、我々、<br>実験生物学に従事する<br>ものにとって絶対に必<br>要な事業であると断言<br>いたします。引き続きこ<br>の事業が継続される事<br>を強く希望致します。 | 生命科学の情報や技術<br>が膨大に溢れている今<br>日、これまで報告され<br>た情報や生物材料を整<br>理し提供できる施設が<br>あることは、研究を進<br>める上で必要不可欠<br>である。研究の効率を<br>上げ、結果的に新しい<br>知識や技術の促進につ<br>ながると思われる。国<br>際的な競争に勝ち、国<br>益を上げるには、この<br>ナショナルバイオリソ<br>ース事業の果たす役割<br>は大きいと思われる。                   |
| 3726 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24133 | 科学研究費<br>補助金               | 改善・見<br>直しをし<br>た上で推<br>進すべき | 直接経費を充実させ、<br>科学技術振興調整費を<br>廃止、研究者および機<br>関からの申請により研<br>究年度途中において間<br>接経費(調整費)へ変更<br>可能とする。「調整費」<br>の使い勝手が悪い。                                | 調整費は一時的なもの<br>であり、科研費獲得研<br>究者の研究開発環境の<br>改善のための設備やデ<br>ータベースアクセス権<br>の維持には研究期間終<br>了後の経費が継続的に<br>必要な場合がある。直<br>接費用30%では不十分<br>な場合もあり、機関と<br>しては導入しにくい。各<br>機関が維持可能と判断<br>した場合には、導入固<br>定費を軽減するために<br>研究者の同意の下で調<br>整費として利用するこ<br>とを許可する方が良い。 |
| 3727 | 大学・<br>公的<br>研究<br>機関<br>(独<br>法・公<br>設試<br>等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24141 | 特別研究員<br>事業                | このまま<br>推進す<br>べき            | 大学で学ぶのもや研究<br>者を志望するものを支<br>援する制度は必要。  | 研究者を養成するため<br>に必要な施策である<br>と思うから。   |

|      |                   |        |       |       |                    |                  |  |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--------------------|------------------|--|--|
| 3728 | 大学・公的研究機関（独法・公設等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24124 | 植物科学研究事業           | このまま推進すべき        | 環境・エネルギー、食料増産など地球環境の維持や資源の有効利用などの問題解決に向け、植物科学研究は推進すべきである。  | 将来の食料問題やエネルギー問題、環境問題、さらに健康向上などに対応しうる植物科学分野での知的財産権等を確保していかなければならない。食料、バイオ燃料、健康に関わる有用な遺伝子の探索や知財獲得、作物への利用を目指した大規模な植物研究が欧米や、中国、韓国で進められている。このような国家的な大規模な植物科学研究プロジェクトと競争し、対抗していく必要がある。 |
| 3729 | 大学・公的研究機関（独法・公設等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24177 | 大強度陽子加速器施設（J-PARC） | このまま推進すべき        | J-PARCにおける大強度陽子ビームを用いた原子核・素粒子物理学等の基礎研究を推進し、国際的にも最高水準の研究環境を構築すべき。   | 世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成にとってきわめて有効である。特に、多様なビームを生成できるJ-PARCでは、その効果は極めて大きい。日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高めることができる。   |
| 3730 | 大学・公的研究機関（独法・公設等） | 40～49歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム  | 改善・見直しをした上で推進すべき | 今まで以上に広く、かつ、手厚く手当すべきだと思う。  | 大学の研究において、研究に専念できる大学院生は、かなり重要な位置を占めている。また、ブレークスルーを生み出す新しい研究成果も期待できる。   |
| 3731 | 大学・公的研究機関（独法・公設等） | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト | このまま推進すべき        | 科学研究のなかでも、ライフサイエンス研究は国民の健康に直接・間接に役立つ重要な分野である。諸外国の状況、特に中国やシンガポールのライフサイエンス分野への莫大な資金・人材投入をみていると、今のような無策、あるいは衆愚政治を続けていると、日本の将来に深い禍根を遺すと感じざるを得ない。財源が限られている以上、本施策のような重要施策に重点的に配分を行うべきで | バイオリソースの戦略的保存・分譲は、目新しさ・華やかさに欠けるかも知れないが、医学・ライフサイエンス研究に必要な欠くべからざる基盤となるものである。実際私どもの研究においても、度々必要なバイオリソースの分譲をうけている。   |

|      |                   |        |       |       |                              |           |   |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|------------------------------|-----------|---|--|
|      |                   |        |       |       |                              | ある。       |   |  |
| 3732 | 民間企業              | 40～49歳 | 文部科学省 | 24006 | ライフサイエンスデータベース統合推進事業         | このまま推進すべき | データベースの充実には必須です。そのため、アメリカやヨーロッパにおいては多くの資金を投じてライフサイエンス系データベースの充実を図っており、日本はいくつか目を見張る成果を出しつつも、全体では両者に遅れを取っています。こうしたデータベースは産業界でも利用されているものでありますので、今後とも注力すべき研究分野であると思います。   | ライフサイエンスにおける研究で、様々なデータベースが作られていますが、問題の一つはデータベースの維持で、せっかく価値の高いデータベースが作られても、データが古くなり、忘れ去られてしまうことがあります。データの再利用が図られなければ研究推進は停滞してしまいます。今の研究者、並びに未来の研究者の為にも、本案件は継続して進めていくべきであると考えます。                   |
| 3733 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム | このまま推進すべき | GCOEプログラムは日本の科学研究を促進するのに重要であると思います。   | 今の日本は活気がなく、アジア各国(特に中国やインド)が成長している中で世界での位置づけとなる国家戦略もなく、どこへ行っているのか分かりません。韓国も国がバックアップをして科学研究を支えている中、日本は科学の予算を削る一方ではこれからの進展を期待できないと思います。   |
| 3734 | その他               | 60歳～   | 文部科学省 | 24136 | WPI                          | このまま推進すべき | 機構長以下スタッフの顔ぶれを見ても、国内外を問わず、世界中から最優秀な人材をあつめており、世界的にも大いに期待され、日本が世界に誇れる成果が期待できる稀有なプログラムであり、何を措いても成功させたいもの。研究目標は、すぐに実用に供する類の役に立つものではないが、いわば哲学のontologyに物理学の視点から解をだそうとする極めてレベルの高い、高尚なものを掲げている。日本の科学文化のstatusを高めることができ、ヨーロッパのCERNに並ぶ位置にある。外国人を3割以上雇うことが宣言されている以上、国際公約としてみても後に引けない。 | もし予算が削られれば、当然のこととして、外国人研究者の雇用を減らし、日本人を優先的に雇用するようなことになるであろう。しかし、物理分野は極めてglobalな組織・運営がなされており、もしそのようなことが起これば、国際的に急激な信用失墜や日本の文化レベルへの尊敬の念の喪失に繋がることになる。現時点が丁度国際的な競争の真最中にあり、いまこの時点でこそ予算措置に十全を期していただきたい。 |

|      |                    |        |       |       |                            |                  |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|----------------------------|------------------|--|--|
| 3735 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 40～49歳 | 文部科学省 | 24164 | 高速増殖炉サイクル技術の研究開発           | このまま推進すべき        | これからの環境・エネルギー問題を考えれば、最優先で推進すべき施策だと思います。  | 石油の供給がいつまで続くかわからない状況で、今後はウランの取り合いが激しくなるでしょう。いずれにしても、資源をもたない日本がとるべき道をよく考える必要があります。現状は本施策の推進が最も有望な道のひとつであると思いますので、推進すべきと思います。  |
| 3736 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 40～49歳 | 文部科学省 | 24004 | 次世代がん研究戦略推進プロジェクト          | このまま推進すべき        | がんについての基礎研究がにより多くの知識が得られてきているが、臨床への応用に十分に活かされていない。   | 基礎研究と臨床応用研究を横断した施策が絶対に必要。特に基礎研究成果をいかに使うか、だけでなく、臨床研究から基礎研究へのフィードバックが提供される貴重な施策と考える。   |
| 3737 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 農林水産省 | 26107 | イノベーション創出基礎的研究推進事業         | このまま推進すべき        | イノベーション創出基礎的研究推進事業が、我が国の将来にとって欠くべからずものである  | 日本の農業は世界の中でも競争力が低い。しかし、食は人間の生活ももつとも基本的なところであり、農業の活性化は我が国の将来にとって重要である。独創的な視点で新たな農業産業の芽をつくるイノベーション創出基礎的研究推進事業は推進すべきである。        |
| 3738 | 民間企業               | 50～59歳 | 経済産業省 | 27018 | 次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基板技術開発 | 改善・見直しをした上で推進すべき | シリコン基板の100分の1の抵抗値となると、社会に大きなインパクトとなる研究だと思うが、当然同じような目的の研究が世界各地で行われていると思われる。それらの研究に負けないようにするには、どうするかを常に考えていただきたいと思う。 | 照明に関する情報は、日本よりはヨーロッパやアメリカから多くのレポートが見受けられる。ドイツのオスラムやアメリカのGEに負けずにしなければ研究のみで終わるような気がするからである。                                    |
| 3739 | 大学・公的研究機関（独法・公設試等） | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト         | このまま推進すべき        | ナショナルバイオリソースプロジェクト事業は、これまでも研究支援をおこなうのみならず、日本の科学研究が達成してきた有形無形の財産を文字通り資源として統括し、多くの医療技術の開発促進に貢献してき                    | 生物学的資源を管理する団体があることは、まず第一に日本で研究する研究者の研究をおおきくサポートし、もはや必要不可欠の存在になっている。また、国家の産業の観点からも重要度は高い。日本は天然資源に乏しいと言われるが、国の研究費を利用して作られてきたバイ |

|      |                    |        |       |       |                    |           |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------|-----------|---|--|
|      | 設試等)               |        |       |       |                    |           | ている。このような事業を国家レベルで推進しない限りは他にする団体はないので、今後もこのまま推進すべきと考える。     | オリソースは文字通り資源であり、国のために重要である。もし当該事業が縮小すれば、世界の中で日本の資源や知的財産は低く見られてしまい、大きな危機を迎えるであろう。   |
| 3740 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24140 | RIビームファクトリー計画の推進   | このまま推進すべき | RIビームファクトリー計画を推進することで、日本が原子核の実験的研究において世界をリードしていくことを期待しています。 | 私は博士課程の学生で原子核の実験的研究をしております。<br><br>RIビームファクトリーは、これまで生成不可能であった核種を大強度で生成し研究することのできる世界最高の施設であり、世界中の原子核研究者がRIビームファクトリーでの実験およびその成果に期待をしています。<br>しかし残念なことに、現時点では加速器の運転費用が不足しているため年間の稼働時間が半年以下に限られてしまっています。世界最高の実験装置を所有しながらも運転費用が不足しているために研究が停滞するのは非常に残念なことです。<br>原子核研究分野において日本が世界の中心となって推進して行くために、さらには将来を担う若手研究者(特に博士の学生)にも実験の機会を与えられるように、十分な運営費用を割り当てて欲しいと考えています。 |
| 3741 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 農林水産省 | 26107 | イノベーション創出基礎的研究推進事業 | このまま推進すべき | 農林水産政策における様々な課題の解決に資するイノベーションの創出を目指した基礎的な研究及び応用研究を推進すべきである。 | 農林水産政策における様々な課題に技術面から対応するためには、産学官の研究者の能力を活用しつつ、革新的な技術シーズを生み出すとともに、生み出された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させることが重要であるため。  |
|      |                    |        |       |       |                    |           |   | 科学研究費補助金は、研究者の自由な発想に   |

|      |                   |        |       |       |                    |                  |  |   |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--------------------|------------------|--|---|
| 3742 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金           | このまま推進すべき        | これからも拡充を図るとともに、若手研究者に対する助成を重要視すること。  | よって研究を推進する上で極めて重要な競争的資金であるので、これからも拡充を図るべきである。特に、一部の研究者に過度に資金が集中するようなことにならないよう、若手研究者に対するチャンスを増やすことが重要である。  |
| 3743 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金           | このまま推進すべき        | すぐに成果が出るような研究だけではなく、基盤的な研究も手厚く支援できるだけの予算を確保すべきである。   | 大学の基盤経費が縮小されている中、科学研究費補助金が無いと、研究成果の発表や通常の研究活動の維持すら難しい。  |
| 3744 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム  | 改善・見直しをした上で推進すべき | 基礎科学と応用科学とに分けて欲しい。基礎科学については、長期的展望に立ち、広汎に網羅的で平均的な施策を行い、全体の底上げ、引いては日本全体の科学基礎力が向上する様に努力すべきである。応用科学については、短期的に国際競争力が向上する様に特化的で重点的な施策を行うべきである。両者を明確に区別して、ニュー・イノベーションを目指す科学立国「日本」を牽引する両輪とすべきである。現在の施策は応用科学に流れすぎている。 | 現在の施策の方向を眺めると、基礎科学の学問は長期的には死んでしまうことが必定であろう。例えば数学などは何千年もの単位で人類と社会に貢献しながら進歩してきており、世の中の短期的な動向に左右されてはいけないのは当然である。しかし昨今の施策の中身を見ると、すぐに役立つ技術のみが重宝され、その基礎となる学問分野に対しては殆ど敬意を払わない傾向がある。もっと基礎科学分野の意見を施策に反映させる制度設計が必要だと思われる。 |
| 3745 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト | このまま推進すべき        | ナショナルバイオリソースプロジェクトは日本が世界に誇るバイオ資源を有し、今後も本プロジェクトを継続し、間違ってもプロジェクトを停止させてバイオ資源を廃棄や散逸させることがあってはならないと考え   | 個人商店のような研究者のコミュニティーにおいて、研究上必要な研究材料は、これまでは必要に応じて個別にお願いして分譲してもらった必要があった。それは、時間を浪費し、場合によっては必要な材料を探しきれなかったり、分譲をことわられることもあった。それが、本プロジェクトにより、生物種ごとに、膨大なコレクションが収集されたことにより、必要な生物材料が簡便に入手できるよ                            |

|      |                   |        |       |       |  |           |  |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--|-----------|--|--|
|      |                   |        |       |       |  |           | ます。  | うになった。このことは、研究の活性化だけでなく、人件費や研究費の節約にもつながり、日本の科学研究や予算に対してもより良い影響をもたらしていると考えます。   |
| 3746 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24116 | オーダーメイド医療の実現プログラム                        | このまま推進すべき | 近年、ようやく薬物治療の効果や副作用の予測にゲノム医学が応用できるようになってきましたが、各診療分野でオーダーメイド医療を実施するには、まだまだ十分なデータが蓄積されているとは言えません。頻度が少ない副作用などを予測することは困難としても、頻度の高い副作用などを予測し、治療を行うことは、患者の負担軽減のみならず、医療従事者の負担も軽減できる可能性が高いと思われます。その点からもこの施策の推進は不可欠であると考えます。 | 現在、医療従事者の負担は増加するばかりであり、その負担の増加が総合病院等での勤務医の減少につながっていると思われ、優先度は高いと感じます。オーダーメイド医療を実現することで、治療回数の減少や治療に伴う副作用の軽減などにより、より確実性のある効果的な治療を行うことは、患者側、医療者側の負担および医療費の減少に大きな影響を及ぼす可能性があるため、ゲノム医学の推進は不可欠と考えます。           |
| 3747 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24129 | バイオリソース事業                                | このまま推進すべき | 生命現象をより深く理解するための基礎生物研究、また、病気の予防・治療法を開発するための応用試験研究には、多様なバイオリソースの開発と利用が不可欠である。それゆえ、バイオリソースを枯渇させることなく、大いに活用できる研究環境を我が国として確保することが大切である。それゆえ、バイオリソースの「収集・保存・提供」を担うナショナルバイオリソースプロジェクトは安定的に継続すべきである。                      | ナショナルバイオリソースプロジェクトが開始されて以降、多様なバイオリソースの整備が進められ、我が国の研究推進に大いに貢献している。大学や研究機関にバイオリソースごとの拠点を置き整備・維持することは、専門性を加味した費用対効果の高い方法である。欧米やアジアの諸国にもバイオリソースが提供され、科学立国を標榜する日本の国際貢献の一つとなっている。諸外国からの期待も大きく、是非、継続発展させるべきである。 |
| 3748 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24107 | (独)理化学研究所運営費交付金『環境・エネルギー科学研究事業(内、バイオマスエン | このまま推進すべき | 環境問題を解決するため、このまま推進すべきだと思います。   | エネルギー、資源を大切に使う為に自然科学の研究はとても重要だと思います。   |

|      |                    |        |       |       |  |           |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--|-----------|--|---|
|      | 設試等)               |        |       |       | ジニアリング研究』                                  |           |  |   |
| 3749 | 小・中・高校             | 30～39歳 | 文部科学省 | 24003 | (独)海洋研究開発機構運営費交付金「海洋資源・エネルギーの探査・活用技術の研究開発」 | このまま推進すべき | 必ず推進して下さい。資源探査機の開発はもとより、その運用にも支障がない程度に支援して下さい。   | 我が国において、周辺海底資源と海洋科学技術はともに将来の生命線となりうる両輪。今後は海底資源の争奪戦が避けられないだけに、ぜひとも技術面で先んじるとともに、科学技術分野で活躍する人材の育成を求めたい。  |
| 3750 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24190 | 科学技術振興調整費                                  | このまま推進すべき | 科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、各省連携のもと社会システムの転換も視野に入れてイノベーション創出に向けた更なる取組を行っているため、非常に重要であると思う。               | 各府省ごとの施策では対応が難しい境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組みむべきもの等の政策誘導効果が高いものに活用できるから。   |
| 3751 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24161 | ITER計画(建設段階)等の推進                           | このまま推進すべき | 人類の未来に関わる重要な施策であり、推進すべきと思います。  | 核融合はエネルギー・環境問題を解決するためのひとつの方法ではありますが、実現への道のりはまだまだでしょう。しかし遠い未来をも見据えれば、絶対に途中で止めるべきではありません。完成すれば、世界での様々な問題を一気に解決できるほどの効果をもたらすことでしょう。従いまして、ぜひとも推進すべきと思います。 |
| 3752 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24124 | 植物科学研究事業                                   | このまま推進すべき | 国家的な大規模な植物科学研究プロジェクトとして、理研でのシロイヌナズナのゲノム機能研究、ホルモンや代謝産物の微量解析技術などを発展させ、国としてのメタボローム研究基盤、ゲノム機能解析基盤を確立し、それらを各研究機関や大学等で活用していくシステムを構築する必要があると思う。 | 植物科学分野の研究が、将来の食料問題、エネルギー問題や環境問題、さらに健康向上などの問題解決に期待できるから。   |
|      | 大学・公的研究            |        | 経済    |       | 地域イノベー                                     | このまま      | 本当に事業化達成を行うためには研究期間の設定が短すぎるが、こ   | 地域経済発展のために、いろいろな施策を講じている地方公設試が  |

|      |                                       |            |               |       |   |                              |   |   |
|------|---------------------------------------|------------|---------------|-------|---|------------------------------|---|---|
| 3753 | 機関<br>(独<br>法・公<br>設等)                | 40～<br>49歳 | 産業<br>省       | 27174 | シオン創出研<br>究開発事業   | 推進す<br>べき                    | の点を改善して頂ければ<br>このまま推進すべきで<br>ある。予算額縮小はと<br>ても残念である。   | 行うことに合致してお<br>り、資金繰りに困ってい<br>る中小企業を援助する<br>点も良い。  |
| 3754 | 大学・<br>公的研<br>究機関<br>(独<br>法・公<br>設等) | 40～<br>49歳 | 経済<br>産業<br>省 | 27021 | 低炭素社会<br>を実現する<br>超軽量・高強<br>度革新的融<br>合材料プロジ<br>ェクト(NED<br>O交付金以<br>外分)ナノ材<br>料の安全・安<br>心確保のた<br>めの国際先<br>導的安全性<br>評価技術の<br>開発 | このまま<br>推進す<br>べき            | グリーン・イノベーション<br>の推進において不可欠<br>な施策と考える。我が<br>国の目指すイノベーシ<br>ョンが、素材とその利用<br>技術の開発に拠ることは<br>明白であるが、近年<br>では、エネルギー変換<br>やグリーン化のための<br>デバイス・システムの根<br>幹をなすナノ材料につ<br>いて、安全性の議論抜<br>きを開発を進めること<br>は許されない状況にな<br>っている。この分野にお<br>ける我が国の国際優位<br>性を担保・防衛するた<br>めに、本施策の推進に<br>対する支援が是非必要<br>である。 | 電池材料、環境触媒な<br>どの、低炭素排出化、<br>環境負荷低減化テクノ<br>ロジー分野において、<br>ナノ材料の合成・利用<br>技術に関する熾烈な競<br>争がなされている。諸<br>外国において、自国の<br>技術・産業の益に資す<br>るために、不完全な、<br>ないし歪められた「安<br>全性評価」を「利用」<br>しようとする動きが垣<br>間見える。本施策に関<br>する我が国の技術は現<br>在確かに世界をリード<br>しているが、さらなる<br>発展を行わなければ、<br>我が国のグリーン技術<br>開発は、安全性の名の<br>下で足をすくわれてし<br>まう虞がある。産業界<br>の努力のみでは実施<br>困難な課題であるゆ<br>え、国を挙げての取<br>り組みによって推進<br>されたい。 |
| 3755 | 大学・<br>公的研<br>究機関<br>(独<br>法・公<br>設等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24149 | 国立大学法<br>人等施設の<br>整備  | 改善・見<br>直しをし<br>た上で推<br>進すべき | 単に箱物を作るのでは<br>なく、本当に研究に必<br>要な施設をつくるべ<br>き。   | 国立大学法人等の施設<br>部が主導で建物を作る<br>と、通り一辺の建物<br>を作ることにしか目<br>がいかず、研究活動<br>に本当に必要な施設<br>を作ることには必ずし<br>もつながらない。特<br>に予算の割り当てサ<br>行において研究者か<br>らの意見を取り入れ<br>ることが必要である。  |
| 3756 | 大学・<br>公的研<br>究機関<br>(独<br>法・公<br>設等) | 30～<br>39歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24107 | (独)理化学<br>研究所運営<br>費交付金「環<br>境・エネルギー<br>科学研究事業<br>(内、バイオ<br>マスエンジニア<br>リング研究)」  | このまま<br>推進す<br>べき            | 地球的規模の問題であ<br>る気候変動問題にお<br>いて、バイオマスの再<br>生エネルギーの利用<br>や、プラスチックの原<br>材料としての活用の<br>推進は、環境先進国<br>日本を推進する上で<br>重要な施策になる<br>と思う。   | バイオマスは、自然<br>循環系で二酸化炭素<br>を吸収・貯留する重<br>要な役割を果たすと<br>ともに、固定化され<br>た二酸化炭素をエ<br>ネルギー源やプラ<br>スチックの原材料<br>として活用する革<br>新技術になり得る<br>から。  |
|      |                                       |            |               |       |   |                              |   | 当事業は質の高い優<br>れた生物資源を収<br>集・提供しており、<br>国内の研究活動の<br>発展に大きく貢<br>献しております。国<br>内外  |

|      |                    |        |       |       |                              |           |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|------------------------------|-----------|--|---|
| 3757 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト           | このまま推進すべき | バイオリソース事業が継続することを願います。   | の研究者間の交流促進にも寄与しており、このような事業に取り組む日本の姿勢は海外の研究者からも高く評価されております。このため当事業は、科学・技術立国を目指すべき我が国の将来にとって非常に重要な意義を担っており、国益に資するものであると考えます。                                  |
| 3758 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト           | このまま推進すべき | この事業は我々日本国内の研究を推進する上で真に重要であり、さらなる拡充を進めて頂きたいものと考えます。  | NBRP事業を私の研究にて利用させて頂きました。他国のリソース事業も活用したことがあるのですが、我が国のNBRP事業はその迅速かつ丁寧な対応、及び利用料金すべての上で他国のものを上回るものでした。  |
| 3759 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24004 | 次世代がん研究戦略推進プロジェクト            | このまま推進すべき | がんは、日本人の死因の第一位であり、がん撲滅にむけた基礎的研究は、積極的に推進すべきである。このような研究は、利害関係を目的とした製薬会社でなく、国が中心となつて行なうべきである。 | がんは、複雑な機構により生成され人命をうばうため、その撲滅にむけた研究は容易ではない。しかし、容易ではないからといって、あきらめてはならず、地道な基礎研究から、その対策がうまれると考えられる。製薬会社に任せるのではなく、国の政策として、社会還元が期待される基礎研究には積極的に資金を投入すべきであると考えため。 |
| 3760 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 農林水産省 | 26106 | 鳥インフルエンザ、BSE、口蹄疫等のリスク管理技術の開発 | このまま推進すべき | BSEに関して、発病メカニズムの解明や、その原因となる異常プリオンについての研究はこれらからも十分に行われるべきである。                               | BSEに関して、この問題が解決されることで、食に対する不安が緩和され、肉に対する購買力の増加につながるし、諸外国との貿易を円滑に進めるために重要だと思う。   |
| 3761 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24170 | Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)     | このまま推進すべき | 水星探査を続けて下さい。   | 日米欧が共同で水星を観測するのは最初で最後のチャンスです。   |
|      |                    |        |       |       | 次世代印刷                        |           | 大幅な省資源、省エネルギー化を達成する可能  | この分野は欧米諸国   |

|      |                    |        |       |       |  |                  |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--|------------------|---|---|
| 3762 | 民間企業               | 30～39歳 | 経済産業省 | 27007 | エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業                        | このまま推進すべき        | 性が高い、印刷法によるデバイス作製基盤技術の強化は早期に国を挙げて全力で取り組むべき施策の一つであると思います。  | は官民挙げて研究を進めており、日本も積極的に取り組むべきであると考えます。   |
| 3763 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24169 | 我が国の宇宙技術の世界展開-最先端宇宙科学・技術と人材育成をセットにした新たな海外展開戦略- | このまま推進すべき        | 我が国の先進的な技術を活用して、特にアジア地域の地球観測データを活用して、災害対策等の実用としての利用と共に人材育成等にも貢献することを是非進めるべき。  | 宇宙技術であれば、安全保障や経済的活動による貢献とは違って、相手国に警戒されず受け入れられやすい。長期的に日本のプレゼンスを高めることができ、外交上有効であると思われる。   |
| 3764 | 民間企業               | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト                             | このまま推進すべき        | ナショナルバイオリソース事業は、我が国独自の研究の進展や、国の将来にとっても推進すべきであると強く感じる。   | 生命現象の解明や、疾病の治療法の開発、創薬などにつながる世界の最先端の研究に利用され、国際的に高い評価を得ているところ。<br><br>優れたバイオリソースが生まれれば、それらのリソースを利用することで、国の研究に貢献すると思われる。   |
| 3765 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 農林水産省 | 26002 | 農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発                | 改善・見直しをした上で推進すべき | 食品の機能性が注目を集めているが、科学的エビデンスが必要であるが、中でも医学的エビデンスが重要であることから、農林水産省だけでなく特に厚生労働省との連携によるエビデンスの取得が必要と考える。そこで、更に予算規模を拡大して、医学的エビデンスを含めた事業にして頂きたい。 | 現在食品の機能性が注目され、食品企業においては新製品を開発するに当たって機能性が大きなターゲットとなっている。しかし、機能性の証明が大きなネックとなっている。そこで、科学的エビデンスを取得するための技術並びに既存成分のエビデンスのデータベースが必要となる。また、最終的には生体内でのエビデンスが必要となることから、医学との連携が必要と考える。 |
| 3766 | 大学・公的研究機関(独法・公設試)  | 30～39歳 | 文部科学省 | 24140 | RIBチームファクトリー計画の推進                              | このまま推進すべき        | 現在の日本の核物理研究は世界をリードする立場にある。この分野は国際協力がすすんでおり、特にRIBFは不安定核の研究において世界をリードする立場にある。したがって、本研究を進めることは国内のみならず、世界の科学技術の発展に寄与する                    | 高等学校までの物理の教科書に登場する物理学者の多くは欧米人である。日本は基礎科学の研究は長い間、欧米に遅れをとってきた。しかし、近年はRIBF計画のみならず、J-PARCなど、ユニークな研究施設が日本に建設された。これらの研究施設を有効に利用することで、   |

|      |                    |        |       |       |                    |           |   |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------|-----------|---|--|
|      | 等)                 |        |       |       |                    |           | ものである。研究は日本のみで進めているわけではないので、今後も世界の中の日本という立場で推進すべきである。   | 日本がつくった物理学が多く誕生できる。それらは将来の子供たちが日本を誇りに思える大きな希望となると期待する。   |
| 3767 | 民間企業               | 30～39歳 | 総務省   | 20108 | ICTグリーンイノベーション推進事業 | このまま推進すべき | 経済成長を損なわない、地球温暖化、CO2排出削減対策にはネットワークトラフィック急増によるネットワーク機器の電力消費量削減が効果的であり急務である。原ロビジョンにあるようにICTグリーンイノベーション推進事業により効率的な二酸化炭素の排出量の削減が見込める。従って、ICTグリーンイノベーション推進事業はこのまま推進すべきである。                         | 最も重要なことは、実際に実行可能であり成果が出やすいことである。実行性の面では、ネットワーク機器の主要LSIは日本の優位技術であるため事業化や実用化が実際に実行可能である。また日本の優位技術であるため市場シェアも大きく成果の効果が大きい。その結果、地球温暖化、CO2排出削減対策にその効果は期待できる。  |
| 3768 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト | このまま推進すべき | 生命現象をより深く理解するための基礎生物研究、また、病気の予防・治療法を開発するための応用試験研究には、多様なバイオリソースの開発と利用が不可欠である。それゆえ、バイオリソースを枯渇させることなく、大いに活用できる研究環境を我が国として確保することが大切である。それゆえ、バイオリソースの「収集・保存・提供」を担うナショナルバイオリソースプロジェクトは安定的に継続すべきである。 | ナショナルバイオリソースプロジェクトが開始されて以降、多様なバイオリソースの整備が進められ、我が国の研究推進に大いに貢献している。大学や研究機関にバイオリソースごとの拠点を置き整備・維持することは、専門性を加味した費用対効果の高い方法である。欧米やアジアの諸国にもバイオリソースが提供され、科学立国を標榜する日本の国際貢献の一つとなっている。諸外国からの期待も大きく、是非、継続発展させるべきである。 |
| 3769 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24010 | 女性研究者研究活動支援事業      | このまま推進すべき | 当該事業は、女性の数が少ない大学や研究所の研究者における男女共同参画社会の実現のために必要な施策である。  | 優秀な女性研究者やその卵の者が男性社会の大学・研究所での就業や結婚・出産等の人生におけるステップの際に研究を続けていくための支援をする必要が日本には必要であり、これは新成長戦略の柱にも沿っていることから。   |
|      |                    |        |       |       |                    |           |   | この夏前に運転が終わったBファクトリーは、海外の研究所が競争を諦   |

|      |                   |        |       |       |                             |           |  |   |
|------|-------------------|--------|-------|-------|-----------------------------|-----------|--|---|
| 3770 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24138 | Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求 | このまま推進すべき | 人的・金銭的資源を有効に活用すべく、このまま(あるいは、これまで以上に)推進すべきだと考えます。   | めるほど圧倒的な性能を誇っていた。これを単なる「過去の栄光」にせず、さらなる高度化を押し進めることは、基礎科学における国際協力ではなく、国際貢献につながる。世界ダントツのトップを維持することは難しいが、トップを走り続けることで、子どもたちも夢や希望を持ち、科学を志すものも増えると思う。     |
| 3771 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 農林水産省 | 26108 | 新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業      | このまま推進すべき | 基礎的研究のみでなく、現場での実用化を目指した研究事業であり、厳しい農業経営を支援すすために必要不可欠な事業であり、今後も推進すべきである。   | 農業の担い手の減少や高齢化が進む中で、農業では様々な問題を抱えている。これらの技術的な方策で解決するため、省力技術や経営安定技術の開発が望まれる。この事業は現場のニーズを踏まえた実用的な研究を推進するものであり、有効性が極めて高い。                                |
| 3772 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24138 | Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求 | このまま推進すべき | 日本に於ける素粒子物理学実験の基盤設備として、Bファクトリー加速器の高度化は極めて重要である。また新しい物理法則の発見という、期待される効果も大きい。  | KEKB Bファクトリーは世界一の強度を誇りこれまでも大きな成果を上げてきた。新しい物理法則を発見するためには現在スイスジュネーブ近郊で行われているLHC加速器における実験による、新粒子の直接発見と共にその性質等をBファクトリー等で精密に調べることが重要である。                 |
| 3773 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24126 | ゲノム医科学研究事業                  | このまま推進すべき | これまで、薬剤の開発は小分子化合物の中から見つけ出す方法からトランスレーショナルリサーチによる分子標的薬の開発へと変化しています。これに伴いより治療効果の高い薬物が開発されてきていますが、依然として治療効果には個人差が強く、ゲノムの構造が強く影響していることが考えられます。そのことからゲノム医学研究の発展はより高いレベルでの医療の実現に不可欠 | ゲノム医学の研究は、ようやく臨床の現場への応用が始まったばかりであり、これから大きく発展する可能性があります。実際に、ワーファリンの維持投与量の予測などでは良好な成績が上げられており、今後さらに広い分野でゲノム医学が応用されていくと考えられることから、本事業は推進していく必要があると考えます。 |

|      |                    |        |       |       |   |           |  |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|---|-----------|--|---|
|      |                    |        |       |       |   |           | と考えます。   |   |
| 3774 | 民間企業               | 50～59歳 | 経済産業省 | 27116 | セルロース系エタノール革新的生産システム開発事業                                | このまま推進すべき | トウモロコシ(食料)を原料とするバイオ燃料は、食品価格の高騰を呼び起こした。従って、食料以外を原料とするエタノール生産技術に挑んで欲しい。  | 植物をはじめとする生物資源(バイオマス)を原料とするバイオ燃料が地球温暖化対策として不可欠である。また、石油依存度の高い日本にとっては、エネルギーの安全上の観点からも、バイオ燃料を国家戦略として構築する必要があると考える。   |
| 3775 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24169 | 我が国の宇宙技術の世界展開-最先端宇宙科学・技術と人材育成をセットにした新たな海外展開戦略-【特別枠該当施策】 | このまま推進すべき | 宇宙開発の国際的な枠組みは重要です。   | 宇宙開発は先進国だけのものでは無くなりました。中国・インドが月探査機を打ち上げ、これからの宇宙開発は国際協力の枠組みなしには進みません。日本の優位性を維持すべく、リソースの投入が必要です。  |
| 3776 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | グローバルCOEプログラム   | このまま推進すべき | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の基盤をなす科学技術を担う若手研究者育成のために必要である。</li> <li>・若手研究者に対して、国際的な研究の機会を提供するプログラムとして重要である。</li> <li>・プログラムとして組織化することによって、分野間の融合が期待できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手研究者に対する経済的な支援によって、研究の意欲およびその質の向上につながるから。</li> <li>・世界最高水準の研究を行うためには、常に国際的な視点を持つ必要があるから。</li> <li>・通常研究していると狭い分野に閉じこもりがちである。異なる分野同士をつなぐことで、新しい概念の創出につながるから。</li> </ul> |
| 3777 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 経済産業省 | 27126 | 固体高分子形燃料電池実用化推進技術開発                                     | このまま推進すべき | 二酸化炭素排出量削減に関連して車載燃料電池の開発は喫緊の課題である。その中で使われる貴金属を使用しない触媒電極の開発は、燃料電池のコストの削減、元素代替といった資源戦略の点から重要である。本施策の中のカーボンアロイ触媒は我が国が先導して研究開発が進められているもので、確実な進展が望めるものであり、従来どおり推進すべき課題と考える。             | 課題の設定、組織、研究計画など、良く練られたものであり、本計画を予定通り推進すれば、基礎から開発に至る道のりで隘路となるデスバレーを乗り越えることができ、所定の成果が得られると確信するものである。  |
|      |                    |        |       |       |   |           |  | ナノテク研究はその研  |

|      |                   |        |       |       |                    |           |  |   |
|------|-------------------|--------|-------|-------|--------------------|-----------|--|---|
| 3778 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24180 | ナノテクノロジーネットワーク     | このまま推進すべき | ナノテク研究の産学間の連携をするうえで、本施策はナノテク装置の使用環境やその装置使用のノウハウを広く提供するネットワークの場として、非常に有用なものと考えます。そのため、このまま本施策を推進することを強く要望します。                                 | 究アイデアが画期的なものであっても、実際にはそのアイデアを具現化する装置の性能に大きく依存するといっても過言ではありません。しかしながら、その装置を維持するための人材育成や施設維持の費用は莫大なものがあり、本施策で共用利用施設として提供してもらうことで研究開発が大きく推進されます。 |
| 3779 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24010 | 女性研究者研究活動支援事業      | このまま推進すべき | 女性研究者を増やすことを個々の大学がそれぞれ別個に努力するのではなく、内閣府を中心にワーキンググループを作り、そこで分析検討して、今後の指針を出した上で支援してほしい。   | 大学において、女性研究者の数は微増してはいるが、まだまだ少ない。数が増えなければ職位の向上も望めない。大学間の温度差も激しい。当然各大学で数の増加に努力する必要があるが、一つの大学の中だけで解決しようとしても限界がある。男女が平等に活躍できて初めて男女共同参画推進ができるのである。 |
| 3780 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24177 | 大強度陽子加速器施設(J-PARC) | このまま推進すべき | 人的・金銭的資源を有効に活用すべく、このまま推進すべきだと思います。   | J-PARCというユニークな施設から、科学的・技術的成果を出すことが、なによりも重要だと思います。素粒子・原子核・物性・生命科学等、多種多様な分野にまたがる科学的成果が出てくると、科学に興味を持つ若者が増え、将来的には国の繁栄にも貢献できる物と考えます。               |
| 3781 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト | このまま推進すべき | 本施策の目指す生物遺伝資源の収集・保存・提供は、ライフサイエンス研究のあらゆる局面で欠くことのできない研究基盤である。第一期、第二期を通じて収集してきた貴重なリソースが散逸することは、どんなことがあっても避けなければならない。さらに、第三期にはリソースの一層の整備が強く望まれる。 | 本施策は、「グリーン・イノベーションの推進」ならびに「ライフ・イノベーションの推進」という目標の達成のために必須の研究基盤を提供するものであり、我が国の国益のためにも優先的に予算を措置されるべきである。   |
|      |                   |        |       |       |                    |           |  | Bファクトリーは、小林・益川理論を素粒子実験  |

|      |                   |        |       |       |                             |           |  |  |
|------|-------------------|--------|-------|-------|-----------------------------|-----------|--|--|
| 3782 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 60歳～   | 文部科学省 | 24138 | Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求 | このまま推進すべき | 施策番号 241138「Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求」を推進すべきと考えます。   | で検証することに大きな貢献をしました。これは加速器と測定器に携わる研究者・技術者たち能力の高さと長年にわたる努力の成果です。加速器を改造して性能を大幅に向上させて反物質が消えた謎にせまることは、これまでの成果をさらに発展させることとなります。また、有能な集団を維持し若手を取り込んでいくうえで効果があります。                                       |
| 3783 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 20～29歳 | 農林水産省 | 26107 | イノベーション創出基礎的研究推進事業          | このまま推進すべき | 基礎、応用研究はこのまま推進するべき。  | 多種多様な研究の 위해서는基礎研究は欠かせないと思います。また、その基礎を応用して高度な技術を確立するのに必要だと思います。   |
| 3784 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト          | このまま推進すべき | このプロジェクトは削減するべきでなく、できればさらに拡大、拡充すべきで、国外にもさらに宣伝して利用を高めるべきです。これによって日本国内の研究の発展だけでなく、日本として世界における科学の進展にさらに貢献すべきです。 | このプロジェクトによってこれまで研究材料を海外や個人に頼っていたものが簡単に利用できるようなるとともに、材料を分与する研究者の手間も大幅に減り、日本の研究発展に大きく貢献しています。さらに海外に生物資源を提供することによって海外の研究者の研究発展にも寄与しています。このように有用なプロジェクトは日本の誇れるものであり、縮小されれば日本だけでなく、世界の研究にとっても大きな損失です。 |
| 3785 | 大学・公的研究機関(独法・公設等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24133 | 科学研究費補助金                    | このまま推進すべき | 減ったら困ります。  | 産業との結びつきが弱い理学研究者にとっては、これだけが頼りです。   |
|      | 大学・               |        |       |       |                             |           | 当該施策事業に寄託されているリソースをいつ  | リソースが利用できると、同じ物を自分で構築する手間が省けるので、研究活動に費やす時間と経費を大幅に節約することができます。  |

|      |                        |        |       |       |                           |           |  |   |
|------|------------------------|--------|-------|-------|---------------------------|-----------|--|---|
| 3786 | 公的研究機関<br>(独法・公設試等)    | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト        | このまま推進すべき | も利用しています。リソースを非常に安価かつ迅速に提供して頂けるので、自分の研究を推める上で多いに助けて頂いています。このままバイオリソース事業をぜひ推進して下さい。   | バイオリソースは今後の我が国の研究活動にとって、莫大な財産であることは間違いないと思います。このようなリソース事業を今後も公的に推進して頂くことは、我が国の生命科学分野の研究の推進に必ずつながっていくと思います。  |
| 3787 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24113 | (独)宇宙航空研究開発機構「地球観測衛星網の構築」 | このまま推進すべき | 地球環境対策は早急に行うべき課題であり、まずは、全世界的な状況を把握する必要がある。把握のためには、人工衛星が最も効率的であることから、是非、推進すべきである。併せて解析装置・技術等も向上させてもらいたい。  | 宇宙技術先進国である日本が世界に貢献すべきである。これは日本にとっても必要である。世界に対して、平和的な貢献であり、他国も受け入れやすいものと思われる。このような貢献により、日本のプレゼンス向上にも寄与できるものと思われる。  |
| 3788 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24008 | テニュアトラック普及・定着事業           | このまま推進すべき | このまま推進し、規模を拡大すべきと考える   | 博士号を取得した学生の就職先がないことは周知の問題であり、これを解決しなければ博士取得者は減少の一途をたどる可能性が高く、日本の科学の発展を妨げることになる。本施策はこの問題の解決に貢献すると考えら得るため   |
| 3789 | 大学・公的研究機関<br>(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト        | このまま推進すべき | 「ナショナルバイオリソースプロジェクト」はわが国で最も多くのリソース数を保有している機関である。そのリソースを、日本の将来のために惜しげもなく広く分譲を行っている。分譲後の対応や説明活動を行っており、同様の分譲機関よりもすぐれた組織であるといえる。2009年度の実績は収集数は3385、保有数は122750、提供数は2576とのことです。以上のことから、貴重なリソース保持のために | 私の所属している東京大学が主体となって行っている分譲機関や他のリソースの分譲機関では、菌やウィルスの分譲を行うだけの目的で活動しているため、その後の問い合わせには応じたりはしません。一方で、「ナショナルバイオリソースプロジェクト」は菌の環境流出の予防や、分譲後の対応、説明活動において徹底した活動を行っています。今後、エネルギー問題や医療、環境問題など様々な問題を解決するために細胞や菌類を扱った研究が予備知識のない研究者により広く行 |

|      |                    |        |       |       |                                |           |   |   |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--------------------------------|-----------|---|---|
|      |                    |        |       |       |                                |           | 他のリソース分譲機関をつぶしてでも、「ナショナルバイオリソースプロジェクト」の存続と拡充を切に願います。  | われると思います。その中で、官僚的な対応しかできない他の分譲機関ではなく「ナショナルバイオリソースプロジェクト」の行っている事後のケアまで十分に行う機関が必要となります。   |
| 3790 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 50～59歳 | 文部科学省 | 24011 | リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備 | このまま推進すべき | 我が国の大学の研究者は、欧米などの先進諸国に比べ、本来業務である研究・教育に割ける時間が極めて少ないのが現状である。競争的資金の申請書類作成、もろもろの学内会議、プロジェクト・マネジメント等々に、非常に多くの時間をとられている。リサーチ・アドミニストレーターの育成・確保により、研究者が本来業務に専念できるようにすることができる。 | 我が国の研究者は、上記のように本来業務以外の業務をたくさん抱えているため、過労気味である。こういう姿を見ている学生が、研究者を目指すようになってきている。これでは、我が国は学術の先進国に追いつけないし、また、その他の国々に追いぬかれる可能性も高い。若者に研究への道を閉ざさないためにも、必要な施策であると思う。 |
| 3791 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 30～39歳 | 文部科学省 | 24012 | 博士課程教育リーディングプログラム              | このまま推進すべき | 大学院における教育機能を強化するための支援策として必要不可欠である。  | 諸外国に比して資源が少ない日本では、日本人個々の競争・生産力をあげる必要がある。そのためには国際社会で通用する人材養成が必要であり、現在のところそれは大学院の博士課程がその主な担い手となっている。ポスドクの問題があるからこそ、当該事業を推進し世界で活躍する人材を養成する必要があると考えることから。       |
| 3792 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 40～49歳 | 文部科学省 | 24141 | 特別研究員事業                        | このまま推進すべき | 減らさないで下さい。  | 結局のところ、ポスドクの問題は解決していません(少なくとも私の周りでは。)   |
|      | 大学・公的研究            |        | 文部    |       | 世界トップレ                         | 改善・見      | 日本において、トップレベルの研究拠点を、形成することは大変重要である。現在のやり方では、テニユア制でないとともに、研究機関自身の存続に関しても10年という期限があり、極めて若い研究者か研究機   | 沖縄に大学を作ったりするのも全く同じである。研究者も生活者であり、霞を食って生きているわけではない。科学・技術を研究を推進したいのであれば、東京  |

|      |                               |            |               |       |                                 |                   |   |   |
|------|-------------------------------|------------|---------------|-------|---------------------------------|-------------------|---|---|
| 3793 | 機関<br>(独法・公設等)                | 50～<br>59歳 | 科学<br>省       | 24136 | ベル研究拠点プログラム<br>(WPI)            | 直しをした上で推進すべき      | 関を定年退職した研究者のどちらかしか集まらず、必ずしも拠点が形成されているとは言い難い。木造住宅でさえ、200年と言われているのに、研究拠点が10年の期間限定の措置であるのは、いかにもおかしい。   | 近郊、あるいはすでに基盤が整備されつつある、つくばなどに拠点を設立して、雇用する研究者も終身雇用(定年制)とし、まずは生活が安定して、研究に打ち込める環境を整えるべきである。   |
| 3794 | 大学・<br>公的研究<br>機関<br>(独法・公設等) | 60歳<br>～   | 文部<br>科学<br>省 | 24119 | ナショナルバイオリソース<br>プロジェクト          | このまま<br>推進す<br>べき | ナショナルバイオリソース事業は、我が国の科学技術の発展にとって必要欠くべからざるものである。  | 酵母菌を餌として植物寄生線虫を飼育する新技術を最近開発した。現在、代謝系に変異のあるさまざまな酵母菌株や遺伝子導入した酵母菌株を用いて植物寄生線虫を飼育し、線虫の栄養要求性や発育生理を研究している。この様な線虫研究は我が国だけが行っており、当該プロジェクトの酵母菌株の保存・提供事業が大いに役立っている。          |
| 3795 | 大学・<br>公的研究<br>機関<br>(独法・公設等) | 40～<br>49歳 | 文部<br>科学<br>省 | 24176 | 光・量子科学<br>研究拠点形成に向けた<br>基盤技術開発  | このまま<br>推進す<br>べき | 波及効果の高さも考慮した判断が必要だと思います。  | 本研究は、施設が建設される施設だけに恩恵があるわけではなく、建設された施設や基盤技術が広い範囲で応用され、ここで育った人材が様々な分野で活躍することが期待されます。この観点から、単なる施設費だと考えずに、将来的な波及効果の高さを評価すべきだと思います。                                    |
| 3796 | 大学・<br>公的研究<br>機関<br>(独法・公設等) | 60歳<br>～   | 経済<br>産業<br>省 | 27126 | 固体高分子<br>形燃料電池<br>実用化推進<br>技術開発 | このまま<br>推進す<br>べき | 触媒や電池の更なる高性能化、長寿命化、低コスト化を実現し産業技術としてのイノベーションを成し遂げるためには、どちらかというところこれまでの試行錯誤や経験による材料開発、技術改善から、基礎にたちかえて触媒や電池で何が起きているのかを深く科学的に把握したうえで設計指針をたて研究開発を進めるべき段階に差し掛かっていると考える。この分野で世界で強みを持つ日本が、引き続 | 地球温暖化対策、広域環境対策の面における日本の国際貢献イニシアチブとして重要であるのみならず、我が国の科学技術力の強化、国際産業競争力の強化のためにも重要であり、強力に当研究を推進する必要がある。当研究の波及効果は、自動車、化学、石油化学、電力、ガス、材料、環境など、広範な産業に及ぶとともに、家庭やオフィス、学校など我々 |

|      |                    |        |       |       |  |   |  |  |
|------|--------------------|--------|-------|-------|--|---|--|--|
|      |                    |        |       |       |  | き技術優位性を世界の中で維持発展させるためには、出口を見据えた実用化研究の中に、必要不可欠な基礎研究をかみ合わせながら果敢に研究を進めている当研究を日本としてひきつづき加速して推進すべきである。 | の生活面でもエコでクリーンな環境を提供する基盤技術として重要である。国際的にみて強いところをより強くすることは日本の成長戦略で重視すべき方向である。   |  |
| 3797 | 大学・公的研究機関(独法・公設試等) | 20～29歳 | 文部科学省 | 24143 | 大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム                 | このまま推進すべき   | GCOEプログラムは世界で活躍する若手研究者(主に大学院博士後期課程の学生)を対象に、金銭面の支援を行っている。これは若い研究者の未来に投資をする国内ではあまり見られない事業である。中国や韓国、欧米では若手研究者に研究費、生活費を支給することは当たり前であり、国民もまたそのことに不満を持っているものは少ない。日本もこの事業を全面的に押し出して将来の日本の技術を躍進させるであろう若手研究者にスポットライトをもっと当てていくべきだと考える。 | なぜなら国民は若手研究者がどのような環境の中で研究をしているのか知らないからである。いくら優秀な研究者でも生活していくために仕方なく研究を断念し就職をしてしまう者も多い。今の日本の技術や産業は研究者たちのたゆまぬ努力によるものである。だが、現在のよう不景気の中、努力だけでは生活していくことはできない。国の支援が絶対に必要なのである。日本が世界でもトップの技術力を保っていくためにも将来を担う若手研究者たちをサポートしていくことは国の義務だと言えよう。 |
| 3798 | 公益法人               | 50～59歳 | 国土交通省 | 28001 | 高度な国土管理のための複数の衛星測位システム(マルチGNSS)による高精度測位技術の開発 | このまま推進すべき   | マルチGNSSによる高精度測位技術の開発し、国のインフラ基盤である電子基準点を移動するマルチGNSSに順次対応していただき、移動体等における高精度の測位が確実にできる環境を整備して欲しい。   | 衛星飛来情報から作業を行える状況と異なり、GNSSを利用する農機等の移動体向けシステムには、常に十分な衛星の捕捉が必要である。しかし、GPSだけでは、これを実現することが難しく、衛星飛来の多いときに利用することとなる。一方、GPSに加え運用されているGLONASSを追加利用するだけでも大幅に利便性が向上することが確認されている。マルチGNSSに対応する技術開発とこのインフラが整備されれば、移動体向けのシステム等もより有効に活用されると考えられる。  |
|      |                    |        |       |       |  | 光通信産業は、日本の基幹産業として最重要  | 日本の光ファイバーサ   |  |

|      |      |        |       |       |                    |           |   |   |
|------|------|--------|-------|-------|--------------------|-----------|---|---|
| 3799 | 民間企業 | 60歳～   | 総務省   | 20102 | 超高速光エッジノード技術の研究開発  | このまま推進すべき | であり、これからの日本の成長産業であります。光通信産業の研究開発を今まで以上に強力に推進していくべきであると考えます。                                 | ービスは、世界のトップクラスです。この地位を維持し、日本の国際競争力を高めていくべきです。 |
| 3800 | その他  | 40～49歳 | 文部科学省 | 24119 | ナショナルバイオリソースプロジェクト | このまま推進すべき | 日本の科学を支えるものです。地味で成果が見えにくいですが、こうしたものこそ国の支援が必要です。ソフトだけでなく、施設等ハードな面も支援頂ければと存じます。よろしくお願い申し上げます。 | 民間企業では採算が合わないから。                              |